

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-10	中学校	社会	社会(歴史的分野)	1～3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

## 1. 編修の基本方針

歴史を学ぶことを通して  
社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を作る力を養うことのできる教科書

本教科書は、教育基本法第1条における教育の目的を踏まえ、中学校における歴史教育の重要性を考慮し、歴史を学ぶことを通して社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を作る力を養うことのできる教科書をめざしました。そのため、因果関係を重視した本文の記述や豊富な発問を通して、社会的事象の歴史的な見方・考え方を身に付けるとともに、生徒自らが関心を持ち、主体的・対話的で深い学びができるように工夫しました。また、教育基本法第2条における教育の目標を以下のように達成できるよう、編修しています。

- ▶第2条第1号「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと」を達成するために…
- ①全体を通してわかりやすい叙述を心がけ、テーマを設定して歴史的に深く掘り下げる「歴史へのアプローチ」や、地域の歴史を考える「地域からのアプローチ」を踏まえることで、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしました。
  - ②各ページに設定した豊富な発問や、取り上げた課題を話し合い、考察しながら学ぶ「歴史を考えよう」、章末の「まとめ」のページを通して、真理を求める態度を養うことができるようにしました。
  - ③各時代の人々の生活(p.72-73 など)や、人々の社会との関わり(p.94 など)などを示すことで、当時の人々の考え方を知り、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。
  - ④オリンピック・パラリンピックの記述や図版(p.272-273,280 など)、第1章2節「身近な地域を調べよう」(p.8-13)におけるフィールドワークを通して、健やかな身体を養えるよう配慮しました。
- ▶第2条第2号「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」を達成するために…
- ①歴史上の人物の生涯や考え方を紹介する「人物コラム」を豊富に設けました。社会を動かした個人の

働きに着目することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。

②産業や技術に関する記述(p.202-204,206-207 など)や、職業に関する記述(p.230,273 など)などから、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しました。

▶第2条第3号「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」を達成するために…

①当時の社会における正義感や責任感がどのようなものであったのか学べるようにし(p.20,94 など)、正義と責任を重んずる配慮をしました。

②男性中心に偏りがちな歴史における女性の活躍が学び取れるよう、女性を取り上げた人物コラム(p.159,273 など)を設け、男女の平等を重んずる配慮をしました。

③各ページに設定した豊富な発問や、取り上げた課題を話し合い、考察しながら学ぶ「歴史を考えよう」などの活動を通じて、自他の敬愛と協力を重んずる態度が身に付くよう配慮しました。

④日本や世界が抱える現代の諸課題について、考察できる内容(p.276-283 など)を設け、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。

▶第2条第4号「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」を達成するために…

○本文叙述や図版の中で、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう工夫しました(p.143-145,206-207,283 など)。

▶第2条第5号「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」を達成するために…

①世界遺産や国宝に指定された文化財にマークを示して数多く紹介するとともに、各時代の文化を扱い、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。

②「地域からのアプローチ」では、地域の歴史や伝統文化などに焦点を当て、我が国と郷土を愛する態度を養えるようにしました。

③世界史分野の記述を充実させ、親しみやすいイラスト中心のページ(p.26-27 など)を設けることで、他国を尊重するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 歴史との対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「身近な地域を調べよう」ではフィールドワークなどを通して健やかな身体を養う配慮をしているとともに、聞き取り調査なども盛り込んで、生活との関連を重視しています。(第1・2号)</li> <li>●「年代の表し方」では干支などを紹介し、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮をしています。(第5号)</li> </ul>	p.8-13  p.5

<p>第2章 古代までの日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域からのアプローチ① 奈良」「歴史を考えよう① 平安京と京都の街を考える」「地域からのアプローチ② 福岡」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●「縄文時代の人々の暮らし」「弥生時代の人々の暮らし」の叙述では、豊かな情操と道徳心を培えるよう配慮しています。(第1号)</li> <li>●「律令国家の仕組みと人々の暮らし」の叙述や発問を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しています。(第2号)</li> <li>●ハンムラビ法典やペリクレスの演説の史料では、当時の正義と責任の基本となる考え方を紹介しています。(第3号)</li> <li>●世界の宗教の歴史を紹介し、他国を尊重する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> <li>●「飛鳥文化」「歴史書の編さん」「コラム 日本の神話」「聖武天皇と天平文化」「正倉院宝物」「コラム 神仏習合」「国風文化と平安文学」の叙述や写真を通して、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.46-47,56-61</p> <p>p.29,30</p> <p>p.40-41</p> <p>p.18,20</p> <p>p.24-25</p> <p>p.37,42-45,51,54-55</p>
<p>第3章 中世の日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域からのアプローチ③ 平泉」「歴史を考えよう② マンガの源流、絵巻物を考える」「歴史を考えよう③ 関所を考える」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●「武士と民衆の生活」「自力救済・徳政・一揆」の叙述では、豊かな情操と道徳心を培えるよう配慮しています。(第1号)</li> <li>●御成敗式目や分国法の史料や、「自力救済・徳政・一揆」の叙述では、当時の正義と責任の基本となる考え方を紹介しています。(第3号)</li> <li>●「都市(町)の成長」「農村(惣村)の自治」「自力救済・徳政・一揆」の叙述や発問では、人々が主体的に社会の形成に参画した事例を紹介しています。(第3号)</li> <li>●「民衆の生活」「農業の発達」の叙述では、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第4号)</li> <li>●「武士の生活」「鎌倉時代の文化」「歴史を考えよう② マンガの源流、絵巻物を考える」「歴史へのアプローチ③ 琉球の歴史と文化」「歴史へのアプローチ④ アイヌ民族の歴史と文化」「室町時代の文化」の叙述や写真を通し、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.68-69,76-77,95,100-101</p> <p>p.72-73,94</p> <p>p.71,94,97</p> <p>p.93-94</p> <p>p.73,92</p> <p>p.72,74-77,88-91,98-99</p>
<p>第4章 近世の日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「歴史を考えよう④ 江戸図屏風を読み解く」「地域からのアプローチ④ 金沢」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●武家諸法度の史料では、当時の正義と責任の基本となる考え方を紹介しています。(第3号)</li> <li>●「江戸時代の社会の仕組み」の叙述では、当時の社会の仕組みから、自他の敬愛と協力を重んずる態度を学べるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●「歴史へのアプローチ⑤ 都市の暮らしと名所」では、自然を大切にする態度を養えるよう配慮しています。(第4号)</li> <li>●「桃山文化」「諸産業の発達」「特産物の誕生」「コラム 漆器の広がり」「儒学と諸学問」「元禄文化」「新しい学問と化政文化」「地域からのアプローチ④ 金沢」の叙述や写真を通し、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.134-135,148-149,152-153</p> <p>p.121,132</p> <p>p.122-123</p> <p>p.144-145</p> <p>p.118-119,128,129,133,142-143,148-149</p>

<p>第5章 近代の日本と国際関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」「地域からのアプローチ⑤ 札幌」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●「産業革命と社会の変化」「富国強兵と殖産興業」「日本の産業革命と経済の発展」「都市と農村の変化」の叙述や発問を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しています。(第2号)</li> <li>●「市民革命の時代」の叙述や発問では、人々が主体的に社会の形成に参画した事例を紹介しています。(第3号)</li> <li>●「身分制度の廃止と四民平等」「労働者と社会問題」の叙述では当時の正義と責任について考えられるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●「歴史へのアプローチ⑦ 近代日本と女子留学生」では男女の平等を重んずる態度を養えるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●「コラム 五日市憲法」や自由民権運動の叙述では、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●ロンドン・テムズ川の汚染の図版や「人物コラム 田中正造」を通して、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第4号)</li> <li>●「歴史のアプローチ⑥ 国家とは何か」では、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> <li>●「歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」「文明開化と欧米文化の導入」「明治の文化と教育」の叙述や写真を通し、伝統と文化を尊重する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.178-179,205,210-211</p> <p>p.160-161,176-177, 202-204,206-207</p> <p>p.156-159</p> <p>p.173,206-207</p> <p>p.185</p> <p>p.186-187</p> <p>p.161,207</p> <p>p.175</p> <p>p.178-181,208-209</p>
<p>第6章 二つの世界大戦と日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る」「地域からのアプローチ⑥ 広島」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●女性参政権に関連する図版や「人物コラム ガートルード＝ベル」では、男女の平等を重んずる態度を養えるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●「大正デモクラシーの風潮」「社会運動の高まりと普通選挙法の制定」「歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る」の叙述や発問では、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第3号)</li> <li>●「ゲルニカ」の図版や発問では、生命を尊ぶ態度を養えるよう配慮しています。(第4号)</li> <li>●「ヴェルサイユ条約と国際関係」の叙述では、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)</li> </ul>	<p>p.228-229,250-253</p> <p>p.219,221</p> <p>p.223,226-229</p> <p>p.242</p> <p>p.218-219</p>
<p>第7章 現代の日本と世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法」「地域からのアプローチ⑦ 沖縄」「まとめ」では自ら考察し、グループ活動を通して、個人の価値を尊重する力を身に付けることができます。(第1・2号)</li> <li>●オリンピック・パラリンピックの叙述や図版を通して、健やかな身体を養えるよう配慮しています。(第1号)</li> <li>●高度経済成長関連の叙述や発問、「人物コラム 大橋鎮子」を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しています。(第2号)</li> <li>●日本や世界が抱える現代の諸課題について考察できる内容を設け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度</li> </ul>	<p>p.260-261,276-277, 282-283</p> <p>p.272-273,280</p> <p>p.270,272-273</p> <p>p.276-283</p>

	を養えるよう配慮しています。(第3号) ●「過疎化と公害問題」「現在の日本の課題」の叙述では、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第4号) ●「歴史へのアプローチ⑩ 日本の領土の変遷」の叙述や図版では、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう配慮しています。(第5号) ●「今日の世界」「現在の日本の課題」の叙述と発問では、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しています。(第5号)	p.270-271,281  p.268-269  p.278-279,281
--	--	---

### 3. 上記の記載事項以外に意を用いた点や特色

#### ▶ICT を利用した学びの促進

- ①約 40 カ所に二次元コードを付し、インターネットを使用した、より多様な学びができるように配慮しました。インターネットの画面で教科書掲載写真の拡大を見つつ、教科書に掲載されている発問に答えることや、約1分～2分程度の動画などを見て、理解をより深めることなどが可能です。二次元コードは、紙面の該当箇所に付しています。
- ②学習者用デジタル教科書を発行する予定です。

#### ▶SDGs への配慮

- ①「質の高い教育をみんなに」の観点から、ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、カラーユニバーサルデザインを取り入れることで、多くの人に見やすい教科書となるように配慮しました。
- ②「つくる責任、つかう責任」の観点から、ページ数を抑えて資源に配慮するとともに、「緑の豊かさも守ろう」の観点から、再生紙と植物油インキを使用しました。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-10	中学校	社会	社会(歴史的分野)	1～3学年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

歴史を学ぶことを通して

社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を作る力を養うことのできる教科書

本教科書は、中学校における歴史教育の重要性を考慮し、歴史を学ぶことを通して社会を知り、自ら考え、自分たちの社会を作る力を養うことのできる教科書をめざしました。そのため、因果関係を重視した本文の記述や豊富な発問を通して、学習指導要領における、社会的事象の歴史的な見方・考え方を身に付けるとともに、生徒自らが関心を持ち、主体的・対話的で深い学びができるように工夫しました。以下、本教科書の特徴を示します。

### 特徴① 社会的事象の歴史的な見方・考え方を身に付けることができる教科書

- 描いている社会的な事象について、いつ、なぜ、どのように起こったのか、時期や場所によってどのように異なるのか着目できるよう、叙述や発問を工夫しました。

**文明開化と生活の変化** 政府は富国強兵を進めるため、欧米諸国の技術だけでなく、社会制度や学問・思想、生活様式なども導入した。また、暦を欧米諸国にならって改め、これまで使われていた旧暦(太陰太陽暦)を廃止して太陽暦を採用し、1日を24時間とし、のちに日曜日を休日と定めた。

欧米の文化の影響を受け、大都市を中心に人々の生活が変化し始めた。この風潮は当時文明開化と呼ばれた。特に首都の東京や、横浜・神戸のような外国人や外国文化と接する貿易港では、街にれんが造りの洋風建築が建ち、道には鉄道馬車や、日本人によって発明された人力車が走り、ランプやガス灯がともされた。また、洋服やコート・帽子・こうもり傘など欧米式の服装が流行し、江戸時代にはさけられてきた牛肉を食べるようになるなど、衣服や食事にも変化が現れた。

一方、農村部では、引き続き農作業に合った旧暦も使われており、衣服や食生活もすぐには変わらなかった。しかし、東京や横浜などへ旅行する際には、西洋建築や博覧会を見物し、舶来品(輸入品)を購入するなど、農村部でも文明開化に対する関心は強く、少しずつではあるが農村部の人々の生活も変化していった。

### ◀▼差異を重視した叙述と発問の例(p.180)



特徴② 主体的・対話的で深い学びができる教科書

- さまざまなパターンの豊富な発問を通して、生徒の主体的・対話的な活動をうながし、学習意欲を高める工夫を行いました。

▼p.100「第3章 まとめ」

第3章 中世の日本 **まとめ**

**1 農村にいる武士の立場で考えてみよう**

●あなたは農村をまとめる武士です。最近、別の武士が支配する隣村の人々があなたの領地に立ち入ってきます。あなたはどのように対応するでしょうか。だれをたよれば効果的か考えながら、対応策を練ってみよう。

時代	対応策
鎌倉時代	将軍に自らの領地の支配を保障してもらう。
南北朝時代	
室町時代	
戦国時代	

**2 農村にいる農民の立場で考えてみよう**

●あなたは農民です。今年は天候が悪く、農作物の育ちが良くありませんでした。自分たちの生活を守るために、何ができるでしょうか。だれからの支配を受けていたのかを考えながら、対応策を練ってみよう。

時代	対応策
鎌倉時代	
南北朝時代	農民たちで結束して年貢の軽減を荘園領主に訴える。
室町時代	
戦国時代	

▼B 銅鐸

脱穀の様子

くわしく見てみよう  
銅鐸のつくり方

二次  
元  
コード  
掲  
載

兵庫県出土 神戸市立博物館蔵

**ステップアップ**

初めて金属器を見た人々は、どのように感じたか、理由もふくめて考えてみよう。

1997(平成9)年に制定され、「北海道旧土人保護法」を廃止した「アイヌ文化振興法」の意義や、2019(令和元)年に制定され、アイヌ民族が先住民族であると記した「アイヌ施策推進法」の意義を調べ、これから目指すべき社会の姿について、話し合ってみよう。

◀p.205「地域からのアプローチ⑤ 札幌」

▲p.31「稲作の広まりと弥生文化」 二次元コードから視聴できる動画の内容を踏まえることで、思考のヒントを得ることができます。

- 発問は、見開き冒頭に、その時間の学習内容を理解するための課題(A)を付し、生徒が見通しを持って学習に取り組むことができるようにしました。また、見開きの最後にはステップアップ(B)を設け、生徒の深い学びをうながすように工夫しました。
- 写真や絵図、史料などにも発問を付しました。二次元コードを用いて、インターネットで拡大画像を見つつ考察する発問(C)も設けており、より深い学びが可能になっています。

▼図についての発問(C) 二次元コードから拡大画像を見ることで、より深い学びが可能です。

▼課題(A)

**4 武士と民衆の生活**

①武士と民衆はどのような関係で結ばれていたのだろうか。  
②荘園領主と地頭との間の訴訟が増加したのはなぜだろうか。

▼ステップアップ(B)

**ステップアップ**

荘園絵図がつくられた目的を考えてみよう。

①一遍は何をしているのだろうか。  
②どのようなものが売買されているのだろうか。  
③この場所に市が開かれたのはなぜだろうか。

▲B 備前国福岡市の様子  
『一瀬上人絵伝』神奈川県 清浄光寺(遊行寺)蔵

くわしく見てみよう  
備前国福岡市

二次元  
コード  
掲  
載

その後も続いた。

特徴③ 世界の歴史も含めた歴史全体の流れをつかむことができる教科書

- 世界の歴史に関する内容を充実させ、グローバル化が急速に進む社会を生きる生徒にふさわしい内容になるように工夫しました。同時に、日本の歴史との関連や、現在の国際情勢との関連を意識した叙述にしています。


2章	人類の誕生と進化(p.16-17)→古代文明の始まり(p.18-19)→地中海文明の発展(p.20-21)→中国文明と東アジア(p.22-23)→宗教のおこり(p.24-25)→2世紀の世界(p.26-27)→唐の成立と東アジアの変化(p.38)→8世紀の世界(p.48-49)→東アジアの貿易と遣唐使派遣の中止(p.54)
3章	西アジアとヨーロッパの交流(歴史へのアプローチ②、p.78-79)→13世紀の世界(p.80-81)→モンゴル帝国の拡大(p.82)→東アジアの変動と倭寇(p.86)
4章	ルネサンスと宗教改革(p.104-105)→ヨーロッパ人の海外進出(p.106-107)→ユーラシア大陸と海でつながる世界(p.108-109)→16世紀の世界(p.110-111)→18世紀の世界(p.150-151)
5章	市民革命の時代(p.156-159)→産業革命と社会の変化(p.160-161)→アメリカの発展とロシアの東方開発(p.162-163)→ヨーロッパ列強のアジア侵略(p.164-165)→欧米の帝国主義(p.190-191)→清と列強(p.196)→韓国の植民地化・中華民国の成立(p.198-199)
6章	第一次世界大戦と国際関係(p.214-215)→ロシア革命(p.216-217)→ヴェルサイユ条約と国際関係(p.218-219)→アジアの民族運動(p.220-221)→世界恐慌とその対応(p.232-233)→ファシズムの台頭(p.234-235)→第二次世界大戦(p.242-243)→イタリア・ドイツの降伏とポツダム宣言(p.248)
7章	冷戦の時代とアジア・アフリカの独立(p.262-263)→冷戦の終結(p.274-275)→今日の世界(p.278-279)

▼日本の歴史との関連を意識した世界の歴史の記述の例(p.160)

**「経済の広がり」とイギリスの台頭**

17世紀になると、ポルトガルやスペインにかわって、イギリスやオランダが海上貿易の主導権を争った。イギリスは東南アジアではオランダに敗れ、日本からも去ったが、北アメリカやカリブ海諸島では支配地を広げ、サトウキビやたばこなどを栽培する大規模な農園(プランテーション)を展開した。フランスもイギリスと同じように北アメリカやカリブ海諸島に植民地を広げた。

プランテーションでは、アフリカ大陸から連れられてきた黒人奴隷が働き、その生産品はヨーロッパに持ちこまれて消費された。このように17世紀から18世紀にかけて、ヨーロッパ諸国は他の地域との経済的なつながりを強めたが、このつながりは地域間の対等な交易ではなく、支



◀8 イラン=イスラム革命(1979年) 革命によって、イランはイスラム教の考え方に基づいたイスラム法によって政治が行われるイスラム共和国になった。イランでは、革命後に民衆がアメリカ大使館を襲撃したため、イランとアメリカの国交は断絶し、現在に至っている。写真の人物はホメイニ。

現在の国際情勢との関連を意識した記述の例(p.275)▲

- 各章の扉には、日本と世界のできごとを上下に分けて示す帯年表を付し、視覚的に流れをつかむことができるような工夫をしています。
- 2・8・13・16・18世紀の世界を、地図と親しみやすいイラストで紹介するページを設け、各時代の世界の状況を通観して視覚的に理解できるような工夫をしています。

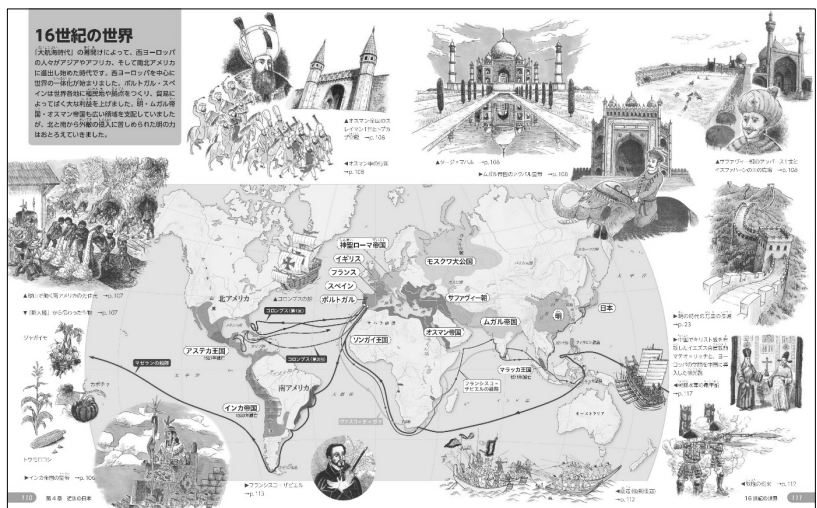
**第6章 二つの世界大戦と日本**

1914年に勃発した第一次世界大戦は、東洋各地に波及し、植民地や領土、軍備競争も巻き起こり、今までに経験のない規模の戦いとなり、戦後、世界地図の中心はヨーロッパからアジアへと移りました。日本は戦後、戦勝国の一つとして、戦後処理や国際関係の再構築に重要な役割を果たしました。戦後、日本は経済発展を遂げ、世界経済の中心地として、戦後処理や国際関係の再構築に重要な役割を果たしました。



**16世紀の世界**

大航海時代の発展によって、ヨーロッパの人々がアジアやアフリカ、そして南北アメリカ各地に植民地を築きました。ヨーロッパの中心地である地中海の重要性は低下し、大西洋の重要性が増しました。ポルトガル、スペインは世界各地に植民地を築き、貿易の中心地として、戦後処理や国際関係の再構築に重要な役割を果たしました。





#### 特徴④ 小学校社会科・高等学校地理歴史科の学習との円滑な接続ができる教科書

- 小学校学習指導要領に取り上げられている人物を第1章1節で取り上げ、円滑に中学校での学習を始めることができるようにしました。
- 高等学校学習指導要領で目標として掲げられている、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉えること(歴史総合)、概念などを活用して多面的・多角的に考察すること(歴史総合・日本史探究・世界史探究)の基礎を身に付けることができるよう、以下の点に留意しました。
  - ・世界の歴史を充実させるとともに、日本の歴史と世界の歴史のつながりが把握できるようにしました(特徴③参照)。
  - ・第5章以降を中心に、「近代化」など高等学校での学習でも求められる概念を盛り込み、「用語解説」で解説しました。

▼用語解説の例(p.182)

**近代化・西洋化・近代国家** 日本の場合、近代化とは、ヨーロッパやアメリカを手本に、憲法に基づく議会政治の実現や、資本主義化の達成を目指すことを意味する。そのため、西洋化ともいう。また、近代国家とは、近代化または西洋化を実現した国家のことを指す。

#### そのほかの特徴

- 内容のわかりにくい用語には用語解説を付しました。
- 各地域の歴史や伝統文化などについて学ぶ「地域からのアプローチ」を7カ所に設けました。また、琉球やアイヌ民族の歴史や伝統文化については、「歴史へのアプローチ」で詳しく紹介しています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 歴史との対話			7
1節 私たちと歴史			
1 年代の表し方	A(1)私たちと歴史 ア	p. 5	(0.5)
2 時代区分の表し方	A(1)私たちと歴史 ア	p. 6	(0.5)
3 歴史を大きく変えた人物	A(1)私たちと歴史 イ	p. 7	(1)
2節 身近な地域を調べよう	A(2)身近な地域の歴史 ア・イ	p. 8-13	(5)
第2章 古代までの日本			21
第2章 扉	B(1)古代までの日本 イ	p.14-15	(0.5)
1節 世界の諸文明	B(1)古代までの日本 ア・イ	p.16-27	(4.5)
2節 日本文化のあけぼの	B(1)古代までの日本 ア・イ	p.28-35	(4)
3節 律令国家の形成	B(1)古代までの日本 ア・イ	p.36-45,48-49	(5)
地域からのアプローチ① 奈良	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.46-47	(1)
4節 貴族政治と国風文化	B(1)古代までの日本 ア・イ	p.50-55	(3)
歴史を考えよう① 平安京と京都の街 を考える	B(1)古代までの日本 イ	p.56-57	(1)
地域からのアプローチ② 福岡	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.58-59	(1)
第2章 まとめ	B(1)古代までの日本 イ	p.60-61	(1)
第3章 中世の日本			19
第3章 扉	B(2)中世の日本 イ	p.62-63	(0.5)
1節 中世社会の成立	B(2)中世の日本 ア・イ	p.64-67,70-75, 78-81	(5.5)
地域からのアプローチ③ 平泉	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.68-69	(1)
歴史を考えよう② マンガの源流、絵 巻物を考える	B(2)中世の日本 イ	p.76-77	(1)

2節 武家社会の成長 歴史を考えよう③ 関所を考える	B(2)中世の日本 ア・イ	p.82-94,96-99	(9)
第3章 まとめ	B(2)中世の日本 イ	p.95	(1)
	B(2)中世の日本 イ	p.100-101	(1)
第4章 近世の日本			23
第4章 扉	B(3)近世の日本 イ	p.102-103	(0.5)
1節 一体化へ向かう世界	B(3)近世の日本 ア・イ	p.104-111	(2.5)
2節 近世社会の成立	B(3)近世の日本 ア・イ	p.112-119	(4)
3節 幕藩体制の確立	B(3)近世の日本 ア・イ	p.120-127	(4)
4節 幕藩体制の展開 歴史を考えよう④ 江戸図屏風を読み解く	B(3)近世の日本 ア・イ	p.128-133	(3)
	B(3)近世の日本 イ	p.134-135	(1)
5節 幕藩体制の動揺	B(3)近世の日本 ア・イ	p.136-147,150-151	(6)
地域からのアプローチ④ 金沢	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.148-149	(1)
第4章 まとめ	B(3)近世の日本 イ	p.152-153	(1)
第5章 近代の日本と国際関係			28
第5章 扉	C(1)近代の日本と世界 イ	p.154-155	(0.5)
1節 欧米諸国の近代化と日本への接近	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.156-165	(4.5)
2節 開国と幕末の動乱	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.166-171	(3)
3節 立憲国家への道 歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.172-177,180-189	(8)
	C(1)近代の日本と世界 イ	p.178-179	(1)
4節 日清・日露戦争とアジア	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.190-201	(6)
5節 近代日本の産業と文化	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.202-204,206-209	(3)
地域からのアプローチ⑤ 札幌	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.205	(1)
第5章 まとめ	C(1)近代の日本と世界 イ	p.210-211	(1)
第6章 二つの世界大戦と日本			20
第6章 扉	C(1)近代の日本と世界 イ	p.212-213	(0.5)
1節 第一次世界大戦と日本 歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.214-227,230-231	(7.5)
	C(1)近代の日本と世界 イ	p.228-229	(1)
2節 国際協調の崩壊	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.232-241	(5)
3節 第二次世界大戦と日本 地域からのアプローチ⑥ 広島	C(1)近代の日本と世界 ア・イ	p.242-249	(4)
	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.250-251	(1)
第6章 まとめ	C(1)近代の日本と世界 イ	p.252-253	(1)
第7章 現代の日本と世界			14
第7章 扉	C(2)現代の日本と世界 イ	p.254-255	(0.5)
1節 戦後の日本と国際社会 歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法	C(2)現代の日本と世界 ア・イ	p.256-259,262-273	(7.5)
	C(2)現代の日本と世界 イ	p.260-261	(1)
2節 新たな時代の日本と世界	C(2)現代の日本と世界 ア・イ	p.274-275,278-281	(3)
地域からのアプローチ⑦ 沖縄	A(2)身近な地域の歴史 イ	p.276-277	(1)
第7章 まとめ	C(2)現代の日本と世界 イ	p.282-283	(1)
予備			3
		計	135

常用漢字以外の使用漢字一覧表

辛酉 (p.5)	戊 (p.5)	庚 (p.5)	壬 (p.5)	癸 (p.5)	丑 (p.5)	寅 (p.5)	卯 (p.5)	辰 (p.5)
巳 (p.5)	戌 (p.5)	亥 (p.5)	蘭学 (p.7)	編纂 (p.12)	砥石 (p.17)	石斧 (p.17)	楔形 (p.18)	砦 (p.20)
兵馬俑 (p.22)	枅 (p.22)	菩提樹 (p.24)	銛 (p.28)	檜 (p.28)	火焰 (p.28)	鯉 (p.29)	鋤 (p.30)	鋤 (p.30)
銅鐸 (p.30)	壺 (p.30)	甕 (p.30)	高杯 (p.30)	濠 (p.31)	壕 (p.31)	巫女 (p.33)	奴婢 (p.33)	埴輪 (p.34)
甲冑 (p.34)	袴 (p.35)	裳 (p.35)	木樋 (p.38)	神祇官 (p.40)	賤民 (p.40)	雜徭 (p.41)	国衙 (p.41)	鮑 (p.43)
大贄 (p.43)	飢饉 (p.44)	五絃琵琶 (p.45)	螺鈿 (p.45)	釘 (p.47)	蝦夷 (p.50)	勅撰 (p.51)	加持祈禱 (p.51)	阿弥陀堂 (p.54)
袍 (p.55)	笏 (p.55)	惣領 (p.64)	棟梁 (p.65)	安堵 (p.70)	灌溉 (p.73)	吽形 (p.74)	坐禅 (p.75)	彗星 (p.83)
倭寇 (p.86)	屏風 (p.87)	蝶形骨器 (p.88)	鮭 (p.90)	荏胡麻 (p.92)	村掟 (p.93)	一揆 (p.94)	无間地獄 (p.94)	下剋上 (p.96)
厩 (p.97)	菩薩 (p.98)	襖 (p.99)	晚餐 (p.102)	贖宥状 (p.104)	墓廟 (p.108)	麒麟 (p.109)	梵天 (p.116)	金箔 (p.118)
佗茶 (p.118)	茶碗 (p.118)	玻璃 (p.119)	石鱈 (p.119)	梃 (p.121)	鎗 (p.121)	俸禄 (p.122)	水吞 (p.122)	蘇木 (p.124)
輿 (p.127)	唐箕 (p.128)	楮 (p.128)	嗜好品 (p.128)	鰯 (p.128)	鯿 (p.128)	檜 (p.128)	醤油 (p.129)	撒砂 (p.129)
漆椀 (p.129)	西廻り (p.130)	牢人 (p.132)	甘藷 (p.137)	騷擾 (p.139)	攘夷 (p.142)	流鏑馬 (p.145)	賽銭 (p.145)	菱櫓 (p.148)
啓蒙 (p.156)	蛾 (p.168)	牽制 (p.182)	内務卿 (p.187)	輔弼 (p.189)	勿れ (p.196)	大晦日 (p.197)	八洲 (p.197)	塹壕 (p.215)
廢墟 (p.242)	総攬 (p.258)	姦通罪 (p.258)	欽定 (p.260)	対峙 (p.262)				

(注) 歴史上の固有名詞(地名、人名を含む)・史料文・図版名・出典名は省略しました。

## 出 典 一 覧 表

申請図書			出典				備考	
ページ	名 称	種別	名称	ページ	著作者等	発行者		発行年次等
表見返し	国・県対照図	地図						著者作成
表見返し	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	写真						宗像大社
表見返し	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業	写真						(一社)長崎県観光連盟
表見返し	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島	写真						環境省
表見返し	屋久島	写真						屋久島観光協会
表見返し	石見銀山遺跡とその文化的景観	写真						大田市教育委員会
表見返し	白川郷・五箇山の合掌造り集落	写真						南砺市観光協会
表見返し	小笠原諸島	写真						環境省小笠原自然保護官事務所
表見返し	知床	写真						共同通信社
表見返し	白神山地	写真						東北地方環境事務所
表見返し	日光の社寺	写真						日光東照宮
表見返し	ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—	写真						国立西洋美術館
表見返し	富士山—信仰の対象と芸術の源泉	写真						株式会社フォトライブラリー
1	生徒イラスト	図						著者作成
2	目次イラスト全般	図						著者作成
3	目次イラスト全般	図						著者作成
4	目次イラスト	図						著者作成
5	生徒・教師イラスト全般	図						著者作成
5	干支一覧表	図						著者作成
6	生徒・教師イラスト全般	図						著者作成
6~7	時代区分図	図						著者作成
7	人物・生徒・教師イラスト全般	図						著者作成
8	生徒イラスト	図						著者作成
9	生徒・学芸員イラスト全般	図						著者作成
9	道灌山聴虫	写真						荒川区立ふるさと文化館
10	生徒・学芸員イラスト全般	図						著者作成
10	根岸・谷中・日暮里・豊島辺図	写真						国立国会図書館
11	生徒・風景イラスト全般	図						著者作成
12	生徒イラスト全般	図						著者作成
12	根岸・谷中・日暮里・豊島辺図	写真						国立国会図書館
13	道灌山聴虫	写真						荒川区立ふるさと文化館
13	根岸・谷中・日暮里・豊島辺図	写真						国立国会図書館
14	縄文土器(火焰型土器)	写真						十日町市博物館
14	土偶	写真						茅野市尖石縄文考古館
14	銅鐸	写真						神戸市立博物館
14	稲荷山古墳出土鉄剣	写真						文化庁 埼玉県立さきたま史跡の博物館提供
14	ピラミッドとスフィンクス	写真						ユニフォトプレス提供

14	インダス文字	写真	Art of the first cities : the third millennium B.C. from the Mediterra	404	Aruz, Joan ; Wallenfels, Ronald	Metropolitan Museum of Art	2003	
14	ラスコーの洞穴壁画	写真						ユニフォトプレス提供
14	パルテノン神殿	写真						ユニフォトプレス提供
15	法隆寺金堂釈迦三尊像	写真						法隆寺 奈良国立博物館提供
15	東大寺大仏	写真						東大寺 奈良市観光協会提供
15	平等院鳳凰堂	写真						平等院
15	『北野天神縁起絵巻』	写真						北野天満宮
15	秦の始皇帝陵の兵馬俑	写真						ユニフォトプレス提供
15	ラクダに乗る唐代の西域の人々 (唐三彩)	写真						ユニフォトプレス提供
15	岩のドーム (上) と嘆きの壁 (下)	写真						ユニフォトプレス提供
15	カーバ聖殿	写真						PPS通信社提供
16	人類の進化	図						著者作成
16	ネアンデルタール人の埋葬	写真						群馬県立自然史博物館
16	新人の広がり	地図						著者作成
16	打製石器	写真						東京大学総合研究博物館
17	ラスコー (フランス) の洞穴壁画	写真						ユニフォトプレス提供
17	磨製石器	写真						ユニフォトプレス提供
17	石斧	図						著者作成
18	主な古代文明	地図						著者作成
18	楔形文字	写真						ユニフォトプレス提供
18	ハンムラビ法典	写真						ユニフォトプレス提供
18	ハンムラビ法典	史料	『古代オリエント資料集1 ハンムラビ「法典」 (第2版)』	2、9、56-57	中田一郎訳	リトン	2002	左記出典をもとに著者作成
19	ピラミッドとスフィンクス	写真						ユニフォトプレス提供
19	シャンポリオンの解読のきっかけとなった王名符号 (カルトウーシュ)	図						著者作成
19	ロゼッタ=ストーン	写真						ユニフォトプレス提供
19	モエンジョ=ダーロ	写真						ユニフォトプレス提供
19	インダス文字	写真	Art of the first cities : the third millennium B.C. from the Mediterra	404	Aruz, Joan ; Wallenfels, Ronald	Metropolitan Museum of Art	2003	
20	アクロポリスに建つパルテノン神殿	写真						ユニフォトプレス提供
20	ギリシアとアケメネス朝	地図						著者作成
20	重装歩兵	写真						ユニフォトプレス提供
20	アテネの指導者ペリクレスの演説	史料						著者訳
20	ペリクレス	写真						ユニフォトプレス提供
21	アレクサンドロス大王	写真						ユニフォトプレス提供
21	アレクサンドロス大王の帝国とローマ帝国	地図						著者作成
21	ミロのヴィーナス	写真						ユニフォトプレス提供
21	円形闘技場 (コロッセウム)	写真						ユニフォトプレス提供
22	甲骨文字	写真						ユニフォトプレス提供
22	兵馬俑 (兵士)	写真						ユニフォトプレス提供

22	兵馬俑（兵馬俑坑）	写真						ユニフォトプレス提供
22	青銅器（殷）	写真						天理大学附属天理参考館
22	枅	写真						ユニフォトプレス提供
22～23	万里の長城	写真						ユニフォトプレス提供
23	秦・漢時代	地図						著者作成
23	駝鈕銅印「漢匈奴適戸逐王」	写真						大谷大学博物館
23	蛇鈕金印「滇王之印」	写真						シー・ピー・シーフォト提供
23	蛇鈕金印「漢委奴国王」	写真						福岡市博物館 DNPアートコミュニケーションズ提供
23	亀鈕金印「廣陵王璽」	写真						シー・ピー・シーフォト提供
23	三国時代	地図						著者作成
23	諸葛亮	写真						PPS通信社提供
24	主な宗教の分布	地図						著者作成
24	シャカ	写真						ユニフォトプレス提供
24	仏教の広まり	地図						著者作成
25	カーバ聖殿に巡礼するイスラーム教徒	写真						PPS通信社提供
25	イエルサレム	写真						ユニフォトプレス提供
25	イエス	写真						ユニフォトプレス提供
26	2世紀の世界 イラスト全般	図						著者作成
26～27	2世紀の世界 地図	地図						著者作成
27	2世紀の世界 イラスト全般	図						著者作成
28	縄文人の暮らし	図	十日町市博物館 常設展示案内	38	十日町市博物館編		1995	左記出典をもとに著者作成
28	火焰型土器	写真						十日町市博物館
28	加曽利E式土器	写真						千葉市立加曽利貝塚博物館
28	釣り針	写真						東北歴史博物館
28	銚	写真						東京国立博物館 DNPアートコミュニケーションズ提供
28	銚を使う縄文人	図						著者作成
28	大陸とほぼ地続きの日本列島	地図						著者作成
28	ナウマンゾウ（模型）	写真						国立歴史民俗博物館
29	三内丸山遺跡全景	写真						三内丸山遺跡センター
29	縄文カレンダー	図	縄文人の世界	ページなし	小林達雄	朝日新聞社	1996	左記出典をもとに著者作成
29	土偶	写真						茅野市尖石縄文考古館
29	黒曜石とヒスイの交易	地図						著者作成
29	黒曜石	写真						三内丸山遺跡センター
29	ヒスイ	写真						山梨県立考古博物館
30	稲作の様子（想像図）	図						中西元恵・中西祐太郎提供
30	弥生土器（①壺）	写真						福岡市埋蔵文化財センター 国立歴史民俗博物館提供
30	弥生土器（②壺）	写真						福津市教育委員会 国立歴史民俗博物館提供

30	弥生土器 (③甕)	写真						福津市教育委員会 国立歴史民俗博物館提供
30	弥生土器 (④高杯)	写真						福津市教育委員会 国立歴史民俗博物館提供
31	石包丁	写真						佐賀県
31	石包丁で稲の穂をつみ取る	図	図説 山形県史	34	山形県	山形県	1988	左記出典をもとに著者作成
31	吉野ヶ里遺跡	写真						佐賀県
31	共同墓地	写真						佐賀県
31	頭のない遺骨	写真						佐賀県
31	銅鐸	写真						神戸市立博物館
32	三角縁神獣鏡	写真						奈良県立橿原考古学研究所
32	『漢書』地理志	史料	『漢書』地理志					左記出典をもとに著者作成
32	『後漢書』東夷伝	史料	『後漢書』東夷伝					左記出典をもとに著者作成
32	「魏志」倭人伝	史料	『三国志』「魏志」倭人伝					左記出典をもとに著者作成
32	箸墓古墳	写真						朝日新聞社
33	3世紀の東アジア	地図						著者作成
33	「漢委奴国王」金印	写真						福岡市博物館 DNPアートコミュニケーションズ提供
33	『三国志』「魏志」倭人伝 (部分)	写真						宮内庁書陵部
34	保渡田八幡塚古墳の埴輪列 (復元)	写真						かみつけの里博物館
34	鉄製の武具 (甲冑)	写真						国立歴史民俗博物館
34	大仙陵古墳	写真						堺市
34	4～5世紀の東アジア	地図						著者作成
35	須恵器	写真						豊田市
35	窯	図	須恵器の系譜 歴史発掘10	93	菱田哲郎	講談社	1996	左記出典をもとに著者作成
35	稲荷山古墳出土鉄剣の銘文	史料	ワカタケル大王とその時代	口絵	小川良祐ほか	山川出版社	2003	左記出典をもとに著者作成
35	江田船山古墳出土鉄刀の銘文	史料	書の日本史 第1巻	98		平凡社	1975	左記出典をもとに著者作成
35	稲荷山古墳出土の鉄剣	写真						文化庁 埼玉県立さきたま史跡の博物館提供
35	人物埴輪 (男性)	写真						市原市教育委員会
35	人物埴輪 (女性)	写真						市原市教育委員会
36	天皇 (大王) 家・蘇我氏系図	系図						著者作成
36	石舞台古墳	写真						田中真知郎
36	十七条の憲法	史料	日本書紀					左記出典をもとに著者作成
37	法隆寺	写真						ウイングス・フォト・エンタープライズ提供
37	法隆寺玉虫厨子	写真						法隆寺 奈良国立博物館提供
37	法隆寺金堂釈迦三尊像	写真						法隆寺 奈良国立博物館提供
37	遣隋使の派遣	史料	『隋書』倭国伝					左記出典をもとに著者作成
38	7世紀半ばの東アジア	地図						著者作成
38	改新の詔	史料	日本書紀					左記出典をもとに著者作成

38	大野城と水城（挿絵）	図	①大宰府史跡発掘50年記念特別展 大宰府への道 ②発見100年記念特別展 よみがえれ！鴻臚館 ③朝日百科日本の歴史2 古代 ④古代日本を発掘する4 大宰府と多賀城	①149, 164, 172 ②172, 178 ③15 ④18, 19, 23	①九州歴史資料館 ②福岡市博物館 ④石松好雄ほか	③朝日新聞社 ④岩波書店	①2018 ②2017 ③1989 ④1985	左記出典をもとに著者作成
38	大野城と水城（写真）	写真						ウイングス・フォト・エンタープライズ提供
39	天皇家系図	系図						著者作成
39	藤原京の条坊復元図	地図						著者作成
39	都の移動	地図	日中古代都城図録	10	奈良文化財研究所	クバプロ	2009	左記出典をもとに著者作成
40	古代の行政区画（9世紀）	地図	週刊朝日百科 週刊新発見！日本の歴史11 奈良時代1	26-27		朝日新聞出版	2013	左記出典をもとに著者作成
40	律令国家の仕組み	図						著者作成
41	人々の負担	表						著者作成
41	防人の歌	史料	万葉集					左記出典をもとに著者作成
41	墾田永年私財法	史料	続日本紀					左記出典をもとに著者作成
42	平城京	地図						著者作成
42	平城宮（復元模型）	写真						奈良市役所
43	長屋王邸跡出土の木簡	写真						奈良文化財研究所 ColBase ( <a href="https://colbase.nich.go.jp/">https://colbase.nich.go.jp/</a> )
43	長屋王邸（復元模型）	写真						奈良文化財研究所
43	富本銭	写真						奈良文化財研究所
43	和同開珎	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
43	貴族の食事	写真						奥村彪生 奈良文化財研究所提供
43	庶民の食事	写真						奈良文化財研究所
43	鑑真像	写真						唐招提寺 奈良国立博物館提供
44	遣唐使の航路	地図						著者作成
44	遣唐使船（復元）	写真						呉市
44	陸奥国分寺（復元模型）	写真						国立歴史民俗博物館
44	貴族の衣服（復元）	写真						奈良文化財研究所
45	正倉院宝庫	写真						宮内庁正倉院事務所
45	校倉造	写真						宮内庁正倉院事務所
45	螺鈿紫檀五絃琵琶	写真						宮内庁正倉院事務所
45	鳥毛立女屏風	写真						宮内庁正倉院事務所
45	樹下美人図	写真						MOA美術館
45	筑前国嶋郡川辺里戸籍	写真						宮内庁正倉院事務所
45	白瑠璃碗	写真						宮内庁正倉院事務所
46	平城京（復元模型）	写真						奈良市役所
46	江戸時代の地図	写真						奈良文化財研究所
46	朱雀門（復原）	写真						奈良文化財研究所
46	大極殿（復原）	写真						奈良文化財研究所



47	木簡を紹介する馬場基先生	写真						当社所蔵
47	くり返し文字を練習した木簡	写真						奈良文化財研究所 ColBase( <a href="https://colbase.nich.go.jp/">https://colbase.nich.go.jp/</a> )
47	東大寺・大仏関連年表	表						著者作成
47	大仏の残存状況	図	朝日百科日本の歴史2 古代	303		朝日新聞社	1989	左記出典をもとに著者作成
47	東大寺の大仏	写真						東大寺 奈良市観光協会提供
48	8世紀の世界 イラスト全般	図						著者作成
48~49	8世紀の世界 地図	地図						著者作成
49	8世紀の世界 イラスト全般	図						著者作成
50	平安宮（復元模型）	写真						京都市歴史資料館
50	東北地方の支配拠点	地図						著者作成
51	教王護国寺講堂不動明王像	写真						東寺 田中真知郎提供
51	薬師寺僧形八幡神像	写真						薬師寺 飛鳥園提供
51	神功皇后像	写真						薬師寺 飛鳥園提供
51	最澄	写真						一乗寺 奈良国立博物館提供
51	空海	写真						東寺 京都国立博物館提供
52	清涼殿への落雷	写真						北野天満宮
52	天皇家・藤原氏系図	系図						著者作成
52	菅原道真	写真						北野天満宮
53	藤原道長	写真						藤田美術館
53	『御堂関白記』	写真						陽明文庫
53	藤原道長の栄華	史料	小右記					左記出典をもとに著者作成
53	10世紀初めの阿波国の戸籍	写真						東京大学史料編纂所
54	平等院鳳凰堂	写真						平等院
54	平等院鳳凰堂阿弥陀如来像	写真						平等院
54	10世紀の東アジア	地図						著者作成
55	かな文字	図						著者作成
55	寝殿造（復元模型）	写真						国立歴史民俗博物館
55	束帯	写真						野村美術館
55	女房装束	写真						大和文華館
56	平安京と現在の京都の街	地図	平安京図会			京都市平安京創成館		左記出典をもとに著者作成
56	慈照寺（銀閣）	写真						慈照寺
56	平安神宮	写真						平安神宮
56	西本願寺	写真						本願寺
56	教王護国寺（東寺）	写真						株式会社フォトライブラリー
56	清水寺	写真						清水寺
57	『池亭記』	史料	池亭記					左記出典をもとに著者作成
57	芥川龍之介『羅生門』	史料	羅生門	1	芥川竜之介	阿蘭陀書房	1917	
57	映画『羅生門』にえがかれた荒廃した門	写真						株式会社KADOKAWA
58	東アジアの中の福岡	地図						著者作成
58	そばがき	写真						当社所蔵

58	うどん	写真						当社所蔵
58	おやき	写真						当社所蔵
58	抹茶を飲むための天目茶碗	写真						静嘉堂文庫美術館 DNPアートコミュニケーションズ提供
58	鶏卵素麺	写真						松屋利右衛門
58	栄西	写真						両足院
59	防塁（復元）	写真						福岡市
59	大宰府政庁跡（太宰府市）	写真						太宰府市文化ふれあい館
59	旧八幡製鉄所（北九州市）	写真						北九州市教育委員会
59	九州国立博物館外観	写真						九州国立博物館
59	モンゴル軍船遺物の展示	写真						松浦市教育委員会 九州国立博物館提供
60	古代の文明の地図	地図						著者作成
62	東大寺南大門金剛力士像	写真						東大寺 田中真知郎提供
62	平治の乱	写真						ユニフォトプレス提供
62	備前国福岡市	写真						清浄光寺
62	モンゴル襲来	写真						宮内庁三の丸尚蔵館
62	西アジアの科学者たち	写真						ユニフォトプレス提供
62	アンコール=ワット	写真						ユニフォトプレス提供
62	チンギス=カン	写真						ユニフォトプレス提供
62	十字軍の兵士	写真						ユニフォトプレス提供
63	後醍醐天皇	写真						清浄光寺
63	鹿苑寺金閣	写真						鹿苑寺
63	志苔館付近出土の銅銭	写真						市立函館博物館
63	「万国津梁の鐘」	写真						沖縄県立博物館・美術館
63	踊念仏	写真						東京国立博物館 DNPアートコミュニケーションズ提供
63	柳生の徳政碑文	写真						桑原英文
63	足軽	写真						真正極楽寺
63	ケルン大聖堂	写真						PPS通信社提供
63	紫禁城	写真						ユニフォトプレス提供
63	アルハンブラ宮殿	写真						PPS通信社提供
64	都での儀式の様子	写真						田中滋子 中央公論新社提供
64	荘園・公領の模式図	図						著者作成
64	武士の家の構造	図						著者作成
65	各地の武士団	地図	日本史年表・地図	17	児玉幸多	吉川弘文館	2019（第25版）	左記出典をもとに著者作成
65	平氏・源氏系図	系図						著者作成
65	前九年・後三年合戦	図						著者作成
66	平治の乱	写真						ユニフォトプレス提供
66	院政期の天皇家系図	系図						著者作成
66	強訴の様子	写真						滋賀県立琵琶湖文化館
67	熊野古道	写真						和歌山県広報課

67	保元の乱	図						著者作成
67	源平の争乱	地図						著者作成
67	平清盛（武装姿）	写真						早稲田大学図書館
67	平清盛（公卿姿）	写真						宮内庁三の丸尚蔵館
67	平清盛（出家姿）	写真						六波羅蜜寺 田中真知郎提供
67	平氏系図	系図						著者作成
67	日宋貿易	地図	日本史年表・地図	17	児玉幸多	吉川弘文館	2019（第25版）	左記出典をもとに著者作成
68	金色堂	写真						中尊寺
68	螺鈿装飾（拡大）	写真						中尊寺
68	紺紙金銀字交書一切経	写真						中尊寺
68	平泉復元想像図	地図	芸術新潮 2011年10月号	折込地図		新潮社	2011	左記出典をもとに著者作成
68	無量光院（復元模型）	写真						藤島幸彦 平泉文化史館提供
69	陶磁器の主要産地（12～13世紀）	地図	平泉 光と水の浄土	37	平泉文化遺産センター編	平泉町	2016（改訂増刷）	左記出典をもとに著者作成
69	ワシなどの羽	写真						仙台市博物館
69	アザラシの皮	写真						北海道大学植物園・博物館
69	夜光貝	写真						株式会社アーテファクトリー
69	景德鎮窯の青白磁碗	写真						平泉文化遺産センター
69	常滑窯陶器	写真						平泉文化遺産センター
70	鎌倉	地図						著者作成
70	鎌倉幕府の仕組み	図						著者作成
70	御恩と奉公	図						著者作成
71	源氏・北条氏系図	系図						著者作成
71	承久の乱	図						著者作成
71	御成敗式目	史料	御成敗式目					左記出典をもとに著者作成
71	御成敗式目制定の意図	史料	唯浄裏書					左記出典をもとに著者作成
72	武士の館	図						著者作成
72	承久の乱による守護・地頭の変化	地図	週刊朝日百科 日本の歴史4 中世 I	125		朝日新聞社	1989	左記出典をもとに著者作成
72	伯耆国東郷荘の下地中分図（模本）	写真						東京大学史料編纂所
73	備前国福岡市の様子	写真						清浄光寺
73	阿氏河荘荘民の訴状	史料	高野山文書					左記出典をもとに著者作成
73	信濃国伴野市の様子	写真						清浄光寺
74	東大寺南大門	写真						東大寺 奈良市観光協会提供
74	東大寺南大門金剛力士像	写真						東大寺 田中真知郎提供
74	和歌	史料	①新古今和歌集 ②小倉百人一首					左記出典をもとに著者作成
74	琵琶法師	写真						本願寺
75	鎌倉仏教一覧	表						著者作成
75	法然（源空）	写真						二尊院 京都国立博物館提供
75	親鸞	写真						奈良国立博物館 ColBase( <a href="https://colbase.nich.go.jp/">https://colbase.nich.go.jp/</a> )

75	一遍 (智真)	写真						清浄光寺
75	日蓮	写真						池上本門寺
75	栄西	写真						寿福寺
75	道元	写真						宝慶寺
75	踊念仏	写真						東京国立博物館 ColBase( <a href="https://colbase.nich.go.jp/">https://colbase.nich.go.jp/</a> )
75	北山十八間戸	写真						当社所蔵
76	応天門炎上の場面	写真						出光美術館
76	子どものけんか	写真						出光美術館
76	うわさをする人々	写真						出光美術館
77	相撲の場面	写真						高山寺 京都国立博物館提供
77	儀式の場面	写真						高山寺 京都国立博物館提供
77	勢多(瀬田)で文書を落とす場面	写真						石山寺
77	宇治で文書を見つける場面	写真						石山寺
78	西アジアの科学者たち	写真						ユニフォトプレス提供
79	十字軍のルート	地図						著者作成
79	シャルトル大聖堂のステンドグラス	写真						ユニフォトプレス提供
79	ケルンの大聖堂	写真						PPS通信社提供
79	装飾写本にえがかれた中世の三美神	写真						ユニフォトプレス提供
79	城壁で囲まれた中世都市	写真						ユニフォトプレス提供
80	13世紀の世界 イラスト全般	図						著者作成
80~81	13世紀の世界 地図	地図						著者作成
81	13世紀の世界 イラスト全般	図						著者作成
82	文永の役(1274年)での陸戦	写真						宮内庁三の丸尚蔵館
82	博多湾岸の防塁(復元)	写真						福岡市
82	モンゴル帝国とモンゴル襲来関係図	地図						著者作成
82	竹崎季長	写真						宮内庁三の丸尚蔵館
83	弘安の役(1281年)での海戦	写真						宮内庁三の丸尚蔵館
83	悪党	写真						清涼寺 京都国立博物館提供
83	永仁の徳政令	史料	東寺百合文書					左記出典をもとに著者作成
84	後醍醐天皇	写真						清浄光寺
84	後醍醐天皇の宴会	写真						埼玉県立歴史と民俗の博物館
84	二条河原落書	史料	建武年間記					左記出典をもとに著者作成
84	足利尊氏	写真						等持院
84	南北朝時代の天皇家系図	系図						著者作成
85	守護大名の分布	地図						著者作成
85	足利氏系図	系図						著者作成
85	足利義満	写真						鹿苑寺
85	室町幕府の仕組み	図						著者作成
86	倭寇の活動と日明・日朝交通路	地図	山川 日本史総合図録 増補版	52	笹山晴生ほか	山川出版社	2012(第15刷)	左記出典をもとに著者作成

86	永楽帝勅書	写真						徳川美術館 DNPアートコミュニケーションズ提供
86	日明勘合（想像復元図）	図						著者提供
86～87	北京故宮（紫禁城）	写真						ユニフォトプレス提供
87	新安沈没船遺物（陶磁器）	写真						韓国国立光州博物館 国立歴史民俗博物館提供
87	新安沈没船	写真						韓国国立海洋文化財研究所
87	対馬宗氏に伝わった数々の木印	写真						九州国立博物館
87	園城寺の経蔵	写真						園城寺
88	港川人の顔立ち（復元図）	写真						国立科学博物館
88	南西諸島の歴史	表						著者作成
88	琉球の中継貿易	地図	①琉球王国 ②新訂版 歴代宝案の葉	①83 ②7	①高良倉吉 ②沖縄県教育委員会	①岩波書店 ②沖縄県教育委員会	①1993 ②2018	左記出典をもとに著者作成
88	ジュゴンの骨のアクセサリ（蝶形骨器）	写真						宜野湾市教育委員会文化課
88	今帰仁城跡（沖縄県今帰仁村）	写真						沖縄観光コンベンションビューロー
88	琉球の三勢力	地図	尚氏と首里城	19	上里隆史	吉川弘文館	2016	左記出典をもとに著者作成
88	首里城の正殿（復元）	写真						沖縄美ら島財団首里城公園管理部
89	江戸時代的那覇港の様子	写真						滋賀大学経済学部附属史料館
89	「万国津梁の鐘」	写真						沖縄県立博物館・美術館
89	「万国津梁の鐘」銘文	史料						著者作成
89	国王の冠	写真						那覇市歴史博物館
89	祭礼の際に歌われた歌謡「おもろ」	史料	おもろそうし					左記出典をもとに著者作成
89	組踊「執心鐘入」の一場面	写真						国立劇場おきなわ
89	螺鈿の漆器（「黒漆雲龍螺鈿盆」）	写真						浦添市美術館
89	クーブイリチー	写真						沖縄観光コンベンションビューロー
90	熊の彫刻品	写真						東京大学大学院人文社会系研究科附属 北海文化研究常呂実習施設
90	擦文土器	写真						北海道立総合博物館
90	オホーツク式土器	写真						北見市ところ遺跡の森
90	十三湊と志苔館	地図	日本国王と土民	90	今谷明	集英社	1992	左記出典をもとに著者作成
90	志苔館跡	写真						函館市教育委員会
90	銅銭	写真						市立函館博物館
91	19世紀初頭の北太平洋地域における交易ルート	地図	北太平洋の先住民交易と工芸	8-9	大塚和義編	思文閣出版	2003	左記出典をもとに著者作成
91	ソウヤの首長チョウケン	写真						ユニフォトプレス提供
91	アイヌ民族（北海道）の歴史	表						著者作成
91	イオマンテの様子	写真						個人（東京国立博物館寄託）
92	馬借	写真						石山寺
92	行商人（大原女）	写真						国立国会図書館
92	行商人（連雀商人）	写真						石山寺
92	見世棚	写真						米沢市上杉博物館
92	水車	写真						石山寺
92	座の構造	図						著者作成

93	草戸千軒町遺跡（空撮）	写真						スタジオ・ユニ
93	草戸千軒町遺跡（復元模型）	写真						広島県立歴史博物館
93	出土した中国製の陶器	写真						広島県立歴史博物館
93	草戸千軒町遺跡周辺地図	地図						著者作成
93	銭（永楽通宝）	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
93	銭（私鑄銭）	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
93	祇園祭	写真						米沢市上杉博物館
94	村掟	史料	今堀日吉神社文書					左記出典をもとに著者作成
94	一揆の様子	写真						永青文庫
94	柳生の徳政碑文	写真						桑原英文
94	山城の国一揆	史料	大乘院寺社雑事記					左記出典をもとに著者作成
94	一向一揆の旗	写真						長善寺
95	京都周辺の関所の分布	地図	体系日本史叢書 交通史	76	豊田武ほか編	山川出版社	1994（第11刷）	左記出典をもとに著者作成
95	過所船旗	写真						京都大学総合博物館
96	応仁の乱	図						著者作成
96	応仁の乱による京都の焼失地域	地図						著者作成
96	戦国大名の勢力範囲（16世紀中ごろ）	地図						著者作成
96	上杉謙信	写真						上杉神社
96	武田信玄	写真						高野山持明院 高野山霊宝館提供
96	朝倉義景	写真						心月寺 福井市立郷土歴史博物館提供
96	三好長慶	写真						聚光院
96	毛利元就	写真						毛利博物館
96	島津貴久	写真						尚古集成館
96	大友義鎮	写真						瑞峯院
96	長宗我部元親	写真						秦神社・若宮八幡宮 高知市文化振興事業団提供
96	織田信長	写真						長興寺 豊田市協力
96	今川義元	写真						臨濟寺
96	北条氏康	写真						早雲寺 箱根町立郷土資料館提供
96	足輕	写真						真正極楽寺
97	朝倉孝景条々	史料	朝倉孝景条々					左記出典をもとに著者作成
97	甲州法度之次第	史料	甲州法度之次第					左記出典をもとに著者作成
97	今川仮名目録	史料	今川仮名目録					左記出典をもとに著者作成
97	一乗谷	写真						福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館
97	朝倉氏館復元模型	写真						国立歴史民俗博物館
97	日野富子	写真						宝鏡寺
97	木綿	写真						株式会社フォトライブラリー
98	室町・戦国時代の能舞台	写真						国立歴史民俗博物館
98	金閣	写真						鹿苑寺

98	『瓢鮎図』	写真						退蔵院 京都国立博物館提供
99	銀閣	写真						慈照寺
99	東求堂同仁齋	写真						慈照寺
99	枯山水	写真						大仙院
99	『大仙院花鳥図』	写真						大仙院
99	明・戴進『達磨至慧能六代祖師図』	写真						ユニフォトプレス提供
99	雪舟『慧可断臂図』	写真						齊年寺 京都国立博物館提供
102	姫路城	写真						姫路市
102	長篠の戦い	写真						徳川美術館 DNPアートコミュニケーションズ提供
102	『南蛮屏風』	写真						神戸市立博物館
102	オスマン帝国の都となったイスタンブルの街	写真						ユニフォトプレス提供
102	「最後の晩餐」	写真						ユニフォトプレス提供
102	コロンブスの上陸	写真						ユニフォトプレス提供
102	サン=ピエトロ大聖堂	写真						ユニフォトプレス提供
103	検地の様子	写真						松本市立博物館
103	出帆を待つ菱垣廻船	写真						大阪城天守閣
103	聖堂学問所での講義	写真						東京大学史料編纂所
103	オランダ正月	写真						早稲田大学図書館
103	大塩の乱	写真						大阪歴史博物館
103	タージ=マハル	写真						ユニフォトプレス提供
103	ヴェルサイユ宮殿	写真						ユニフォトプレス提供
103	ボストン茶会事件	写真						ユニフォトプレス提供
104	サン=ピエトロ大聖堂	写真						ユニフォトプレス提供
104	「春」	写真						ユニフォトプレス提供
105	「ダヴィデ像」	写真						ユニフォトプレス提供
105	「モナ=リザ」	写真						ユニフォトプレス提供
105	贖宥状（免罪符）の販売	写真						ユニフォトプレス提供
105	ルターの九十五カ条の論題	史料	新訳 世界史史料・名言集	73	江上波夫監修	山川出版社	1975	左記出典をもとに著者作成
105	ルター	写真						ユニフォトプレス提供
105	宗教裁判（魔女狩り）	写真						PPS通信社提供
106	大航海時代とヨーロッパの海外進出	地図						著者作成
106	羅針盤	写真						ワールドフォトサービス提供
106	コショウ	写真						ユニフォトプレス提供
106	シナモン	写真						当社所蔵
106	クローヴ	写真						ユニフォトプレス提供
106	ナツメグ	写真						ユニフォトプレス提供
106	コロンブス	写真						ユニフォトプレス提供
107	インカ帝国の遺跡	写真						義井豊
107	大西洋三角貿易	地図						著者作成
107	スペイン人による先住民の征服と虐殺	史料	インディアスの破壊に関する簡潔な報告	30	染田秀藤訳	岩波書店	2013	左記出典をもとに著者作成

108	イスタンブルの街	写真						ユニフォトプレス提供
108	サファヴィー朝の絵画	写真	PERSIAN PAINTING	NO. 84	Welch Stuart Cary	George Braziller	1976	
108	タージ=マハル	写真						ユニフォトプレス提供
108	金平糖	写真						当社所蔵
109	16世紀のアジア	地図						著者作成
109	鄭和	写真						ユニフォトプレス提供
109	鄭和が永楽帝に献上したキリン	写真						ユニフォトプレス提供
110	16世紀の世界 イラスト全般	図						著者作成
110~111	16世紀の世界 地図	地図						著者作成
111	16世紀の世界 イラスト全般	図						著者作成
112	『南蛮屏風』	写真						神戸市立博物館
112	『倭寇図巻』	写真						東京大学史料編纂所
112	フランシスコ=ザビエル	写真						神戸市立博物館
113	鉄砲（火縄銃）	写真						種子島時邦
113	イエズス会宣教師によってつくられた日本地図	写真						神戸市立博物館
113	天正遣欧使節となった四人の少年	写真						京都大学附属図書館
114	長篠の戦い	写真						徳川美術館 DNPアートコミュニケーションズ提供
114	安土城（復元模型）	写真						内藤真備 近江八幡観光協会提供
114	織田信長	写真						長興寺 豊田市協力
114	楽市令	史料	近江八幡市共有文書					左記出典をもとに著者作成
115	信長・秀吉の統一事業	地図	大図解 戦国史	63	小和田哲男ほか	平凡社	2014	左記出典をもとに著者作成
115	豊臣秀吉	写真						高台寺
115	大坂城	写真						大阪城天守閣
115	パテレン（宣教師）追放令	史料	松浦文書					左記出典をもとに著者作成
116	検地の様子	写真						松本市立博物館
116	京枅	写真						国立科学博物館
116	検地尺	写真						尚古集成館
116	検地帳	写真						新発田市立歴史図書館
116	刀狩令	史料	小早川家文書					左記出典をもとに著者作成
117	近世の支配の仕組み	図						著者作成
117	日本軍の進路	地図						著者作成
117	「東萊府殉節図」	写真						ユニフォトプレス提供
117	朝鮮水軍の亀甲船（復元）	写真						シー・ピー・シーフォト提供
117	有田焼	写真						佐賀県立九州陶器文化館
118	姫路城	写真						姫路市
118	『唐獅子図屏風』	写真						宮内庁三の丸尚蔵館
118	『松林図屏風』	写真						東京国立博物館 ColBase( <a href="https://colbase.nich.go.jp/">https://colbase.nich.go.jp/</a> )
118	黒楽茶碗	写真						三井記念美術館



118	千利休	写真						表千家不審菴
118	妙喜庵茶室	写真						妙喜庵 便利堂提供
119	三味線の基となった沖縄の蛇皮線（三線）	写真						沖縄観光コンベンションビューロー
119	かぶき踊り	写真						徳川美術館 DNPアートコミュニケーションズ提供
119	キリシタン版（天草版）『平家物語』	写真						ユニフォトプレス提供
119	現在に残るポルトガル語系の外来語	図						著者作成
120	大名の配置（1664年）	地図						著者作成
120	徳川氏系図	系図						著者作成
121	徳川家康	写真						日光東照宮
121	武家諸法度（元和令・寛永令）	史料	御触書寛保集成					左記出典をもとに著者作成
121	軍役	表	日本の近世3 支配の仕組み	57	藤井讓治編	中央公論社	1991	左記出典をもとに著者作成
121	江戸幕府の仕組み	図						著者作成
122	衣食に見る身分	写真						東京大学史料編纂所
122	身分別の人口割合（秋田藩の例）	グラフ	近世日本の人口構造	291	関山直太郎	吉川弘文館	1958	左記出典をもとに著者作成
122	村・百姓と町・町人の概念図	図						著者作成
123	年貢米納入の様子	写真						宮森正弘
123	1642（寛永19）年の農村法令	史料	御当家令条					左記出典をもとに著者作成
123	田畑永代売買の禁止令	史料	御触書寛保集成					左記出典をもとに著者作成
123	姫路城の城下町	図	都市史図集	9	都市史図集編集委員会	彰国社	1999	左記出典をもとに著者作成
124	朱印船	写真						情妙寺
124	朱印状	写真						九州国立博物館 ColBase( <a href="https://colbase.nich.go.jp/">https://colbase.nich.go.jp/</a> )
124	朱印船渡航地と日本町	地図						著者作成
124	1635（寛永12）年の禁令	史料	教令類纂					左記出典をもとに著者作成
124	1639（寛永16）年の禁令	史料	御当家令条					左記出典をもとに著者作成
125	島原・天草一揆	写真						朝倉市秋月博物館
125	原城跡で発掘された十字架やマリア像などのメダル	写真						南島原市教育委員会
125	対外関係の推移	表						著者作成
125	絵踏の様子	写真						ユニフォトプレス提供
125	踏絵	写真						東京国立博物館 ColBase( <a href="https://colbase.nich.go.jp/">https://colbase.nich.go.jp/</a> )
125	宗門改帳	写真						新潟県立文書館
125	宗門改帳（釈文）	図	新潟県立文書館ウェブページ		新潟県立文書館			左記出典をもとに著者作成
126	長崎港の様子	写真						長崎歴史文化博物館
126	唐人屋敷の中国人	写真						京都大学附属図書館
126	出島のオランダ人	写真						長崎歴史文化博物館
126	日本から見た外交秩序	図						著者作成
127	朝鮮の使節	写真						大阪歴史博物館
127	琉球の使節	写真						国立公文書館

127	朝鮮通信使をまねた踊り（三重県の唐人踊り）	写真						津市政策財務部広報課
127	朝鮮通信使と日本人の交流	写真						大阪歴史博物館
127	松前へ交易に来たアイヌ民族一行（17世紀後半～18世紀前半）	写真						北海道大学附属図書館
128	絵図にえがかれた椿海	写真						国立公文書館
128	千歯扱	図						著者作成
128	備中鍬	図						著者作成
128	唐箕	図						著者作成
128	佐渡金山	写真						国立公文書館
129	紅花	写真						株式会社フォトライブラリー
129	楮	写真						株式会社フォトライブラリー
129	楮（束になったもの）	写真						株式会社フォトライブラリー
129	油菜（菜種）	写真						株式会社フォトライブラリー
129	藍	写真						株式会社フォトライブラリー
129	藍（紺屋での染色のようす）	写真						藍住町歴史館藍の館
129	各地の主な特産物	地図	週刊朝日百科 週刊新発見！日本の歴史34 江戸時代7	26-27		朝日新聞出版	2014	左記出典をもとに著者作成
129	会津塗	写真	会津若松市史16 会津の漆器	12	会津若松市史研究会	会津若松市	2003	
129	入浜塩田（模式図）	図	「赤穂の塩づくりの記憶」ウェブページ		赤穂市日本遺産推進協議会			左記出典をもとに著者作成
130	大坂の安治川河口のにぎわい	写真						大阪城天守閣
130	富士川の開削	地図						著者作成
131	江戸時代の交通	地図	日本史年表・地図	36-37	児玉幸多	吉川弘文館	2019（第25版）	左記出典をもとに著者作成
131	越後屋呉服店	写真						株式会社三越伊勢丹
131	小判	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
131	豆板銀	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
131	丁銀	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
131	寛永通宝	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
131	一朱銀	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
131	一分銀	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
132	武家諸法度（天和令）	史料	御触書寛保集成					左記出典をもとに著者作成
132	新井白石	写真						東京大学史料編纂所
132	明暦の大火	地図	明暦の大火	75	岩本馨	吉川弘文館	2021	左記出典をもとに著者作成
132	小判の金含有率	グラフ	近現代日本経済史要覧 補訂版	47	三和良一ほか	東京大学出版会	2017（第3刷）	左記出典をもとに著者作成
133	『燕子花図屏風』	写真						根津美術館
133	『見返り美人図』	写真						東京国立博物館 ColBase( <a href="https://colbase.nich.go.jp/">https://colbase.nich.go.jp/</a> )
133	『曾根崎心中』の口上番付	写真						国立国会図書館
134	天守・本丸の御殿・城内の武士	写真						国立歴史民俗博物館
134	彦根藩の屋敷	写真						国立歴史民俗博物館

134	城門から城内に入る行列	写真						国立歴史民俗博物館
134~135	江戸図屏風の左隻の右半分	写真						国立歴史民俗博物館
135	徳川家光	写真						国立歴史民俗博物館
135	日本橋周辺にえがかれた品物	写真						国立歴史民俗博物館
135	日本橋周辺にえがかれた人々	写真						国立歴史民俗博物館
136	綿織物の生産と商品の買い付け	写真						国立公文書館
136	江戸の十組問屋と主な取り扱い品目	表	百万都市 江戸の灯を支えた油問屋	27	東京油問屋市場	幸書房	2016	左記出典をもとに著者作成
137	荻生徂徠『政談』	史料	政談					左記出典をもとに著者作成
137	徳川吉宗	写真						徳川記念財団
137	幕領の年貢量と米価の変動	グラフ	①近世日本物価史の研究 ②角川新版日本史辞典	①274-275 ②1333-1335	①岩橋勝 ②朝尾直弘ほか	①大原新生社 ②角川書店	①1981 ②1997	左記出典をもとに著者作成
137	朝鮮人参	写真						株式会社アーテファクトリー
138	長崎貿易の様子 (19世紀ごろ)	写真						長崎歴史文化博物館
138	『三国通覧図説』	写真						早稲田大学図書館
138	田沼意次	写真						勝林寺
138	天明の飢饉	写真						福島県会津美里町教育委員会
139	工場制手工業	写真						国立公文書館
139	百姓一揆の推移	グラフ	百姓一揆総合年表	28-32、34	青木虹二	三一書房	1971	左記出典をもとに著者作成
139	『世事見聞録』	史料	世事見聞録					左記出典をもとに著者作成
140	聖堂学問所での講義	写真						東京大学史料編纂所
140	松平定信	写真						鎮國守國神社
141	寛政の改革への風刺	史料						著者作成
141	北方の調査	地図	日本の時代史19 蝦夷島と北方世界	202	菊池勇夫編	吉川弘文館	2003	左記出典をもとに著者作成
141	林子平『海国兵談』	史料	海国兵談					左記出典をもとに著者作成
141	大黒屋光太夫	写真						鈴鹿市教育委員会
141	高田屋嘉兵衛	写真						public domain
142	オランダ正月	写真						早稲田大学図書館
142	シーボルト	写真						長崎歴史文化博物館
142	大日本沿海輿地全図 (部分)	写真						国立国会図書館
143	『富嶽三十六景』	写真						メトロポリタン美術館
143	『三代目大谷鬼次の奴江戸兵衛』	写真						メトロポリタン美術館
143	アサガオの奇品	写真						国立歴史民俗博物館
144	隅田川の花火の様子	写真						国立国会図書館
144	江戸の名所	地図	①「大都市江戸の遺跡」『東京の社会教育』第30巻第3号 ②江戸・東京の地図と景観	①ページなし ②付図	①東京都教育庁社会教育部計画課 ②正井泰夫	①記載なし ②古今書院	①1984 ②2000	左記出典をもとに著者作成
144	浅草寺仁王門 (現在の宝蔵門)	写真						国立歴史民俗博物館

144～145	『四季遊観江戸名物図絵』に見る四季	写真						国立歴史民俗博物館
145	丸亀藩上屋敷の金毘羅社	写真						国立国会図書館
145	江戸の代表的な祭礼、山王祭の作り物	写真						国立歴史民俗博物館
146	大塩の乱	写真						大阪歴史博物館
146	大塩平八郎	写真						大阪城天守閣
146	列強の接近の地図	地図						著者作成
146	列強の接近の表	表	ビジュアル・ワイド江戸時代館	538		小学館	2002	左記出典をもとに著者作成
147	佐賀藩が設置した反射炉（考証復元図）	写真						鍋島報効会
147	人返しの法	史料	牧民金鑑			荒井顕道		左記出典をもとに著者作成
147	水野忠邦	写真						東京都立大学図書館
147	改革を成功させた主な雄藩	地図						著者作成
148	金沢城関連年表	表						著者作成
148	1857（安政3）年ごろの金沢	地図	古地図で楽しむ金沢	73	本康宏史編著	風媒社	2017	左記出典をもとに著者作成
148	1900（明治33）年ごろの金沢	地図	近代日本の地方都市	313	橋本哲哉編	日本経済評論社	2006	左記出典をもとに著者作成
149	金箔	写真						石川県観光連盟
149	和菓子	写真						石川県観光連盟
149	加賀友禅	写真						石川県観光連盟
149	金沢仏壇	写真						石川県観光連盟
149	町家の改修事例（旧崎川菓子店）	写真						NPO法人金澤町家研究会
149	水回りの整備事例	写真						金沢市
149	ギャラリーの活用事例	写真						金沢市
149	工芸工房の活用事例	写真						金沢市
149	ゲストハウスの活用事例	写真						株式会社こみんぐる
150	18世紀の世界 イラスト全般	図						著者作成
150～151	18世紀の世界 地図	地図						著者作成
151	18世紀の世界 イラスト全般	図						著者作成
152	15～16世紀の世界地図	地図						著者作成
152	近世の支配の仕組み	図						著者作成
154	ペリー	写真						玉泉寺
154	黒船の来航	写真						横浜開港資料館
154	大政奉還	写真						聖徳記念絵画館
154	アメリカ独立宣言の署名	写真						ユニフォトプレス提供
154	バスターミナル襲撃	写真						ユニフォトプレス提供
154	ナポレオン	写真						ユニフォトプレス提供
154	蒸気機関車	写真						PPS通信社提供
155	銀座れんが街	写真						マスプロ美術館
155	自由民権運動の演説会	写真						国立国会図書館
154	岩倉使節団	写真						山口県文書館
155	鹿鳴館での舞踏会	写真						横浜開港資料館
155	大日本帝国憲法発布の式典	写真						聖徳記念絵画館
155	「魚釣り遊び」	写真						横浜開港資料館

155	リンカン	写真						ユニフォトプレス提供
155	アヘン戦争	写真						ユニフォトプレス提供
155	インド大反乱	写真						ユニフォトプレス提供
155	イギリスの帝国主義を表現した風刺画	写真						ユニフォトプレス提供
156	イギリスの議会	写真	ピューリタン革命	39	岩井淳	山川出版社	2010	
156	ロンドンのコーヒーハウス	写真						PPS通信社提供
157	クロムウェル	写真						ユニフォトプレス提供
157	権利の章典	史料	新訳 世界史史料・名言集	82	江上波夫監修	山川出版社	1975	左記出典をもとに著者作成
157	星条旗	図						著者作成
157	ボストン茶会事件	写真						ユニフォトプレス提供
157	独立宣言	史料	新訳 世界史史料・名言集	100	江上波夫監修	山川出版社	1975	左記出典をもとに著者作成
158	ニューヨークの自由の女神	写真						ユニフォトプレス提供
158	『民衆を導く自由の女神』	写真						ユニフォトプレス提供
158	フランス共和国の公式マーク	写真						ユニフォトプレス提供
159	ナポレオン	写真						ユニフォトプレス提供
159	ナポレオン全盛時代のヨーロッパ (1810～12年)	地図						著者作成
159	バステューユ襲撃	写真						ユニフォトプレス提供
159	オランプ=ド=グージュ	写真						ユニフォトプレス提供
160	インド産の綿織物 (スカート)	写真						ユニフォトプレス提供
160	ワットの蒸気機関	写真						ユニフォトプレス提供
160	紡績工場で働く子どもと女性(1840年ごろ)	写真						ユニフォトプレス提供
161	蒸気機関車	写真						PPS通信社提供
161	ロンドン・テムズ川の汚染(1859年の風刺画)	写真						ユニフォトプレス提供
161	マルクス	写真						ユニフォトプレス提供
162	チェロキー族の「涙の旅路」	写真						ユニフォトプレス提供
162	アメリカ合衆国の領土拡大	地図						著者作成
162	リンカン	写真						ユニフォトプレス提供
163	投票に来た黒人をおどす白人	写真	アメリカ史の中の人種	38	山田史郎	山川出版社	2006	
163	ロシアの東方進出	地図						著者作成
163	農奴解放令を読み上げる皇帝アレクサンドル2世	写真						ワールドフォトサービス提供
164	19世紀後半のアジア	地図						著者作成
164	インドとイギリスの綿織物の輸出額	グラフ	世界各国史10 インド史	214	山本達郎	山川出版社	1960	左記出典をもとに著者作成
164	インド大反乱	写真						ユニフォトプレス提供
165	アヘン戦争	写真						ユニフォトプレス提供
165	イギリス統治下の香港	写真						著者提供
165	貿易形態の変化	図						著者作成
166	ペリー艦隊の航路	地図	日本の近代1 開国・維新 1853～1871	36	松本健一	中央公論社	1998	左記出典をもとに著者作成
166	ペリー	写真						玉泉寺

166	黒船の来航	写真							横浜開港資料館
166	アメリカ船による捕鯨	写真							ユニフォトプレス提供
167	台場	写真							ウイングス・フォト・エンタープライズ提供
167	日米和親条約	史料	大日本古文書 幕末外国関係文書5	452-454	東京帝国大学文学部史料編纂掛	東京帝国大学	1914		左記出典をもとに著者作成
167	日米修好通商条約	史料	大日本古文書 幕末外国関係文書20	476-480	東京帝国大学文学部史料編纂掛	東京帝国大学	1930		左記出典をもとに著者作成
168	外国との貿易額・貿易品	グラフ	幕末貿易史の研究	67-68、70-72、178-182	石井孝	日本評論社	1944		左記出典をもとに著者作成
168	外国人に生糸を売る商人	写真							横浜開港資料館
168	蚕卵紙	写真							須坂市立博物館
168	金貨流出の仕組み	図	貨幣博物館常設展示図録	66	日本銀行金融研究所貨幣博物館	日本銀行金融研究所貨幣博物館	2017		左記出典をもとに著者作成
168	開港後の大坂での物価の変化	グラフ	近世大阪の物価と利子	122-126、165-167、219-220、232-233	大阪大学近世物価史研究会	創文社	1963		左記出典をもとに著者作成
169	桜田門外の変	写真							茨城県立図書館 茨城県立歴史館保管
169	吉田松陰	写真							山口県文書館
169	近藤勇	写真							国立国会図書館
170	禁門の変	写真							会津若松市
170	四国艦隊下関砲撃事件	写真							横浜開港資料館
170	薩英戦争	写真							尚古集成館
171	「ええじゃないか」	写真							三重県総合博物館
171	徳川慶喜	写真							松戸市戸定歴史館
171	大政奉還	写真							聖徳記念絵画館
171	戊辰戦争	地図	週刊朝日百科 週刊新発見！日本の歴史02 近代 I	17		朝日新聞出版	2013		左記出典をもとに著者作成
172	明治天皇(和装)	写真							宮内庁宮内公文書館
172	明治天皇(洋装)	写真							宮内庁宮内公文書館
172	五箇条の誓文	史料	法令全書	64	内閣官報局		1887		左記出典をもとに著者作成
172	五榜の掲示	史料	法令全書	66-67	内閣官報局		1887		左記出典をもとに著者作成
172	廃藩置県	地図	日本史年表・地図	43	児玉幸多	吉川弘文館	2019(第25版)		左記出典をもとに著者作成
173	藩閥政府(1871年10月9日)	図	日本史広辞典	100-101	日本史広辞典編集委員会	山川出版社	1997		左記出典をもとに著者作成
173	大隈重信	写真	日本史写真集 肖像編Ⅲ	6(No126)	児玉幸多	山川出版社	1995		朝日新聞社
173	板垣退助	写真							国立国会図書館
173	木戸孝允	写真							国立国会図書館

173	西郷隆盛	写真						国立国会図書館
173	岩倉具視	写真						国立国会図書館
173	三条実美	写真						国立国会図書館
173	小学校の授業風景	写真						国立教育政策研究所教育図書館
173	学制序文	史料	法令全書	146	内閣官報局		1889	左記出典をもとに著者作成
173	華族・士族・平民の割合（1873年）	グラフ	補正明治史要附録表	125-126	修史局	博聞本社	1886	左記出典をもとに著者作成
174	地租改正反対一揆	写真						早稲田大学演劇博物館
174	地券	写真						当社所蔵
174	歳入にしめる地租の割合	グラフ	近現代日本経済史要覧 補訂版	57	三和良一ほか	東京大学出版会	2017（第3刷）	左記出典をもとに著者作成
175	フランス国歌「ラ＝マルセイエーズ」	写真						ユニフォトプレス提供
175	イギリスの地図	地図						著者作成
175	国旗の変遷	図						著者作成
176	新橋駅	写真						物流博物館
176	お雇い外国人の数とその推移	表	近代日本経済史要覧 第2版	55	安藤良雄	東京大学出版会	1987（第10刷）	左記出典をもとに著者作成
176	お雇い外国人の給与	表	①近代日本産業技術の西欧化 ②「富岡製糸場のお雇いフランス人」『千葉敬愛経済大学研究論集』20号	①271 ②198	①三枝博音ほか ②澤護	①東洋経済新報社 ②千葉敬愛経済大学経済学会	①1960 ②1981	左記出典をもとに著者作成
176	切手にえがかれた前島密	写真						郵政博物館
177	富岡製糸場	写真						国立国会図書館
177	内国勸業博覧会	写真						日本浮世絵博物館
177	1円金貨	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
177	1銭銅貨	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
177	1厘銅貨	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
177	50銭銀貨	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
177	半銭銅貨	写真						日本銀行金融研究所貨幣博物館
177	渋沢栄一	写真						渋沢史料館
178	富岡製糸場の位置	地図	週刊朝日百科 週刊新発見！日本の歴史40 近代5	16-17		朝日新聞出版	2014	左記出典をもとに著者作成
178	開業時の富岡製糸場	写真						群馬県立日本絹の里
178	富岡製糸場	写真						富岡市
178	繰糸場の内部	写真						東京国立博物館 DNPアートコミュニケーションズ提供
179	フランス式繰糸機(器械製糸)	写真						岡谷蚕糸博物館
179	諏訪式繰糸機(器械製糸)	写真						岡谷蚕糸博物館
179	座繰り器	写真						岡谷蚕糸博物館
179	生糸の生産量と生糸の輸出量	グラフ	近現代日本経済史要覧 補訂版	76	三和良一ほか	東京大学出版会	2017（第3刷）	左記出典をもとに著者作成
179	明治日本と製糸業	表						著者作成
179	輸出品における生糸の割合	グラフ	①幕末貿易史の研究 ②日本貿易精覧	①178	①石井孝 ②東洋経済新報社	①日本評論社 ②東洋経済新報社	①1944 ②1975	左記出典をもとに著者作成

180	銀座れんが街	写真							マspro美術館
180	ざんぎり頭と牛鍋	写真							国文学研究資料館
181	『学問のすゝめ』	史料	学問のすゝめ		福澤諭吉・小幡篤次郎		1872		左記出典をもとに著者作成
181	福澤諭吉	写真							国立国会図書館
181	大浦天主堂	写真							(一社)長崎県観光連盟 長崎大司教区許可
181	廃仏毀釈	写真							国文学研究資料館
181	破壊された仏像	写真							日置市教育委員会
182	岩倉使節団	写真							山口県文書館
182	岩倉使節団の行路	地図							著者作成
182	岩倉具視	写真							米国議会図書館
183	日朝修好条規	史料	日本外交文書 第9巻	115, 118	外務省調査部	日本国際協会	1940		左記出典をもとに著者作成
183	樺太・千島交換条約	史料	日本外交文書 第8巻	216-218	外務省調査部	日本国際協会	1940		左記出典をもとに著者作成
183	明治時代初期の日本の領土	地図							著者作成
183	屯田兵	写真							聖徳記念絵画館
184	知里幸恵	写真							知里森舎
184	『沖縄対話』	写真							沖縄県立図書館
184	尚泰	写真							那覇市歴史博物館
184	ある家族の写真	写真							那覇市歴史博物館
185	岩倉使節団に同行した五人の女子留学生	写真							津田塾大学津田梅子資料室
185	アメリカ留学中の三人	写真							津田塾大学津田梅子資料室
185	女子英学塾	写真							津田塾大学津田梅子資料室
185	山川捨松	写真							久野明子
185	永井繁子	写真							津田塾大学津田梅子資料室
185	津田梅子	写真							津田塾大学津田梅子資料室
186	田原坂の戦い	写真							熊本博物館
186	民撰議院設立の建白書	史料	日新真事誌 206号			貌刺屈社	1874		左記出典をもとに著者作成
186	五日市憲法が発見された土蔵	写真							あきる野市
187	西郷隆盛	写真							国立国会図書館
187	大久保利通	写真							国立国会図書館
187	川上音二郎のオッペケペー節	写真							東京都江戸東京博物館
187	自由民権運動の演説会	写真							国立国会図書館
188	大日本帝国憲法	史料	大日本帝国憲法御署名原本				1889		国立公文書館デジタルアーカイブ
188	伊藤博文	写真							衆議院
188	憲法発布の式典	写真							聖徳記念絵画館
189	大日本帝国憲法下の国家機構	図							著者作成
189	教育勅語	史料	官報 2203号		内閣官報局		1890		左記出典をもとに著者作成
189	第1回衆議院議員総選挙の様子を風刺した絵	写真							横浜開港資料館
189	現代の選挙の様子	写真							朝日新聞社
190	列強による世界の支配(20世紀初頭)	地図							著者作成
190	スエズ運河	写真							ユニフォトプレス提供



191	パリ国際植民地博覧会	写真							ユニフォトプレス提供
191	アフリカをまたぐ巨人	写真							ユニフォトプレス提供
191	ビスマルク	写真							ユニフォトプレス提供
192	帝国議会の様子	写真							衆議院憲政記念館
192	井上馨	写真							国立国会図書館
193	鹿鳴館での舞踏会	写真							横浜開港資料館
193	ノルマントン号事件	写真							横浜開港資料館
193	脱亜論	史料	時事新報 917号				時事新報社	1885	左記出典をもとに著者作成
193	陸奥宗光	写真							国立国会図書館
193	小村寿太郎	写真							国立国会図書館
194	「魚釣り遊び」	写真							横浜開港資料館
194	日清戦争の軍事費	グラフ	昭和財政史 第4巻 臨時軍事費	4	大蔵省昭和財政史編集室	東洋経済新報社		1955	左記出典をもとに著者作成
194	日本軍の出兵数と犠牲者数	表	明治時代館	322	宮地正人ほか	小学館		2005	左記出典をもとに著者作成
194	日清戦争	地図							著者作成
194	李鴻章	写真							ユニフォトプレス提供
195	下関講和会議	写真							聖徳記念絵画館
195	賠償金の用途	グラフ	明治財政史 第2巻	290-291	明治財政史編纂会	丸善		1904	左記出典をもとに著者作成
195	台湾総督府	写真							ピクスタ株式会社
195	山県有朋	写真							国立国会図書館
196	日露戦争前の世界情勢	図							著者作成
196	日露戦争の風刺画	写真							時事通信フォト提供
196	列強による中国進出	地図							著者作成
197	軍事費の増大	グラフ	昭和財政史 第4巻 臨時軍事費	4	大蔵省昭和財政史編集室	東洋経済新報社		1955	左記出典をもとに著者作成
197	日清戦争と日露戦争の比較	表	明治時代館	322, 396	宮地正人ほか	小学館		2005	左記出典をもとに著者作成
197	日露戦争要図	地図							著者作成
197	バルチック艦隊の航路	地図	バルチック艦隊	206-207	大江志乃夫	中央公論新社		1999	左記出典をもとに著者作成
198	朝鮮総督府	写真							毎日新聞社
198	日本に抵抗する韓国の義兵の数	グラフ	韓国併合	188	海野福寿	岩波書店		1995	左記出典をもとに著者作成
198	朝鮮における日本人地主数と所有面積	表	増補 日本帝国主義と旧植民地地主制	78	浅田喬二	龍溪書舎		1989	左記出典をもとに著者作成
199	辛亥革命のころの東アジア	地図							著者作成
199	南満洲鉄道株式会社	写真							国立国会図書館
199	孫文	写真							ユニフォトプレス提供
199	袁世凱	写真							ユニフォトプレス提供
200	「朝鮮林野分布図」	写真							国立公文書館
200	李仁星「慶州の谷間にて」	写真							ユニフォトプレス提供
201	甲子園球場で活躍する嘉義農林チーム	写真							朝日新聞社
201	日本統治下の台北州庁舎	写真							株式会社フォトライブラリー
201	台湾でのサトウキビ運搬	写真	創立拾五週年記念写真帖			台湾製糖株式会社		1915	

201	明治時代末期の日本の植民地	地図						著者作成
202	大阪紡績会社	写真						東洋紡株式会社
202	綿糸生産量と輸出入高の推移	グラフ	日本紡績史	489-491、503	飯島幡司	創元社	1949	左記出典をもとに著者作成
202	豊田式小幅動力織機	写真						トヨタ産業技術記念館
202	豊田佐吉	写真						トヨタ自動車株式会社
203	八幡製鉄所	写真						日本製鉄株式会社九州製鉄所
203	鉄道網と産業の発達	地図	週刊朝日百科 週刊新発見！日本の歴史40 近代5	16-17		朝日新聞出版	2014	左記出典をもとに著者作成
203	官営事業の売却	表	①近現代日本経済史要覧 補訂版 ②日本の工業化と官業払下げ	①61 ②138-139	①三和良一ほか ②小林正彬	①東京大学出版会 ②東洋経済新報	①2017 (第3刷) ②1977	左記出典をもとに著者作成
204	旧横浜正金銀行	写真						神奈川県立歴史博物館
204	日本郵船会社の貨客船春日丸	写真	風俗画報 239号			東陽堂	1901	当社所蔵
204	遠洋航路の開設	地図	明治時代館	415	宮地正人ほか	小学館	2005	左記出典をもとに著者作成
204	貿易額の急増	グラフ	日本貿易精覧		東洋経済新報社	東洋経済新報社	1975	左記出典をもとに著者作成
205	北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)	写真						札幌市
205	明治初年の札幌	地図	札幌市史 第3 (文化社会篇)	折込	札幌市史編集委員会	札幌市役所	1958	左記出典をもとに著者作成
205	クラーク像 (北海道大学構内)	写真						北海道大学
205	北海道の人口、アイヌ民族の人口、札幌の人口推移	表	①北海道史 第9巻史料3 ②住民基本台帳人口・世帯数 (北海道庁ウェブページ掲載) ③アイヌ史資料集 第1巻 一般概況編 ④北海道旧土人集落地区の概況 ⑤「先駆者のつどい」創刊号『アイヌ史 北海道アイヌ協会北海道ウタリ協会活動史編』所収 ⑥昭和61年 北海道ウタリ生活実態調査報告書 ⑦平成18年 北海道アイヌ生活実態調査報告書 ⑧新札幌市史 第8巻Ⅰ統計編 ⑨住民基本台帳 (札幌市ウェブページ掲載)	①764-766、768-770 ③3-4、21 ④2-3 ⑤257 ⑥3 ⑦3 ⑧100-102	①北海道 ③河野本道 ④北海道民生部 ⑤北海道ウタリ協会 ⑥北海道民生部 ⑦北海道環境生活部 ⑧札幌市教育委員会	①北海道 ③北海道出版企画センター ④北海道民生部 ⑤北海道ウタリ協会 ⑥北海道民生部 ⑦北海道環境生活部総務課アイヌ施策推進グループ ⑧札幌市	①1980 ③1980 ④1960 ⑤1994 ⑥1986 ⑦2007 ⑧2000	左記出典をもとに著者作成
205	ブロック住宅	写真						石狩市総務部総務課
205	地上のシェルターを走る札幌市営地下鉄	写真						札幌市交通局
206	工女の働く様子	写真						須坂市立博物館
206	明治時代後期の工女の一日	グラフ	長野県立歴史館展示案内	55	長野県立歴史館	長野県立歴史館	2005	左記出典をもとに著者作成
206	製糸工女の実態	史料	日本之下層社会	168-169	横山源之助	教文館	1899	左記出典をもとに著者作成
206	小作地率の変化	グラフ	近現代日本経済史要覧 補訂版	19	三和良一ほか	東京大学出版会	2017 (第3刷)	左記出典をもとに著者作成
207	炭鉱で働く労働者	写真						田川市石炭・歴史博物館

207	社会・労働問題の発生	地図	①労働争議図：日本史年表・地図 ②足尾拡大図：朝日百科日本の歴史10 近代 I	①49 ②92	①児玉幸多	①吉川弘文館 ②朝日新聞社	①2019 (第25版) ②1989	左記出典をもとに著者作成
207	田中正造	写真						国立国会図書館
207	工場法	史料	官報 8327号		印刷局		1911	左記出典をもとに著者作成
208	樋口一葉	写真						国立国会図書館
208	就学率の変化	グラフ	学制百年史 資料編 (文部科学省ウェブページ掲載)		文部省	帝国地方行政学会	1981	左記出典をもとに著者作成
209	狩野芳崖「悲母観音」	写真						東京藝術大学美術館
209	黒田清輝「湖畔」	写真						東京国立博物館 DNPアートコミュニケーションズ提供
209	横山大観「無我」	写真						東京国立博物館 ColBase( <a href="https://colbase.nich.go.jp/">https://colbase.nich.go.jp/</a> )
209	荻原守衛「坑夫」	写真						東京国立近代美術館 DNPアートコミュニケーションズ提供
209	高村光雲「老猿」	写真						東京国立博物館 ColBase( <a href="https://colbase.nich.go.jp/">https://colbase.nich.go.jp/</a> )
210	世界分割	地図						著者作成
212	原爆が投下された広島 (米軍撮影)	写真						広島平和記念資料館
212	成金の風刺画	写真						灸まん美術館
212	米騒動を報じる新聞	写真						国立国会図書館
212	関東大震災の被害	写真						毎日新聞社
212	普通選挙のポスター	写真						法政大学大原社会問題研究所
212	投票する男性たち	写真						朝日新聞社
212	五・四運動	写真						ユニフォトプレス提供
212	演説するレーニン	写真						PPS通信社提供
212	ガンディー	写真						ユニフォトプレス提供
212	満洲国の成立	写真						ユニフォトプレス提供
212	恐慌発生時のニューヨークのウォール街	写真						ユニフォトプレス提供
213	昭和恐慌でもみを集める子どもたち	写真						毎日新聞社
213	戦時中のスローガン	写真						清水恒明 北区立中央図書館提供
213	二・二六事件	写真						朝日新聞社
213	太平洋戦争開戦時の新聞	写真						国立国会図書館
213	「ぜいたくは敵だ」	写真						毎日新聞社
213	東京大空襲	写真						朝日新聞社
213	ヒトラー (前列中央) とムッソリーニ (左)	写真						ユニフォトプレス提供
213	強制収容所へ送られるユダヤ人	写真						ユニフォトプレス提供
213	「ゲルニカ」	写真						ユニフォトプレス提供
213	ハワイ真珠湾攻撃	写真						ユニフォトプレス提供
213	ヤルタ会談	写真						ユニフォトプレス提供
214	「ヨーロッパの火薬庫」	写真						ユニフォトプレス提供

214	第一次世界大戦前の国際関係	図						著者作成
214	第一次世界大戦中のヨーロッパ	地図						著者作成
215	第一次世界大戦での日本の動き	地図						著者作成
215	塹壕戦	写真						ユニフォトプレス提供
215	兵器工場で働く女性	写真						ユニフォトプレス提供
215	第一次世界大戦の犠牲者(軍人のみの統計)	グラフ	第一次世界大戦	213	木村靖二	筑摩書房	2014(第3刷)	左記出典をもとに著者作成
216	ロシアの農民	写真						著者提供
216	皇帝一家	写真						ユニフォトプレス提供
216	二月革命	写真						PPS通信社提供
217	レーニンの演説(1920年)	写真						PPS通信社提供
217	シベリア出兵	写真						共同通信社
217	ソヴィエト政権のポスター	写真						著者提供
218	第一次世界大戦後のヨーロッパ	地図						著者作成
218	パリ講和会議	写真						ユニフォトプレス提供
218	国際連盟本部	写真						PPS通信社提供
219	新渡戸稲造	写真						国立国会図書館
219	子どものおもちゃにされるマルク紙幣	写真						ユニフォトプレス提供
219	女性参政権の実現	写真						ユニフォトプレス提供
220	三・一独立運動	写真						ユニフォトプレス提供
220	五・四運動	写真						ユニフォトプレス提供
220	糸をつむぐガンディー	写真						ユニフォトプレス提供
220	ムスタファ=ケマル	写真	ケマル・アタテュルク	67	設楽國廣	山川出版社	2016	
221	第一次世界大戦後の西アジアとパレスチナ	地図						著者作成
221	イギリスの多重外交	図						著者作成
221	ガートルード=ベル	写真						ユニフォトプレス提供
222	国会議事堂を取り囲む民衆(1913年)	写真						日本近代史研究会
222	『中央公論』(1916年1月号)	写真						東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫
222	吉野作造	写真						国立国会図書館
222	桂太郎	写真						国立国会図書館
223	民本主義	史料	中央公論 31巻1号	37-38		中央公論社	1916	左記出典をもとに著者作成
223	工業生産額と農業生産額の変化	グラフ	日本資本主義発達史年表	440	岡崎次郎ほか	河出書房	1949	左記出典をもとに著者作成
223	貿易額の推移	グラフ	日本貿易精覧	2	東洋経済新報社	東洋経済新報社	1975	左記出典をもとに著者作成
223	成金	写真						灸まん美術館
224	愛知県での米騒動の様子	写真						徳川美術館 DNPアートコミュニケーションズ提供
224	米騒動を伝える新聞記事(『東京朝日新聞』、1918年8月8日)	写真						国立国会図書館
224	原敬	写真						国立国会図書館
225	銀行におし寄せた預金者たち	写真						朝日新聞社
225	裏白紙幣	写真						サンポイント

225	高橋是清	写真						共同通信社
226	第1回メーデーの開催	写真						毎日新聞社
226	労働争議・小作争議の推移	グラフ	日本経済統計集	296-299	日本統計研究所	日本評論社	1968 (第3刷)	左記出典をもとに著者作成
226	青鞆社の宣言	史料	青鞆 1巻1号	41		青鞆社	1911	左記出典をもとに著者作成
226	平塚らいてう(明)	写真						日本近代文学館
227	関東大震災の被害の様子	写真						毎日新聞社
227	全国水平社の演説会	写真						朝日新聞社
227	全国水平社創立宣言	史料	宣言		水平社		1922	左記出典をもとに著者作成
227	諸外国の普通選挙制の成立	グラフ	①フランス：フランス史 ②ドイツ：ドイツの歴史 現代史 ③ロシア：ロシア革命	①433、550 ②162 ③217	①ギヨーム・ド・ベルティエ・ド・ソヴィニー (監訳：鹿島茂、訳：楠瀬正浩) ②ヴォルフガング・イエーガーほか編著 (監訳：中尾光延、訳：小倉正宏ほか) ③池田嘉郎	①講談社 ②明石書店 ③岩波書店	①2019 ②2006 ③2017	左記出典などをもとに著者作成
227	有権者数の増加	グラフ	①日本長期統計総覧 第1巻 ②日本長期統計総覧 第5巻 ③衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調 (平成29年10月22日執行) ④人口推計 (平成30年3月)	①48-49 ②349-350	①総務庁統計局 ②総務庁統計局 ③総務省自治行政局選挙部 ④総務省統計局	①日本統計協会 ②日本統計協会	①1987 ②1988 ③2017 ④2018	左記出典をもとに著者作成
228	戦前・戦後の衆議院議員総選挙における選挙人総数と投票率	グラフ	①日本長期統計総覧 第1巻 ②日本長期統計総覧 第5巻 ③衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調 (平成26年12月14日執行、平成29年10月22日執行、令和3年10月31日執行) ④人口推計 (平成27年5月、平成30年3月、令和4年3月)	①48-49 ②349-350	①総務庁統計局 ②総務庁統計局 ③総務省自治行政局選挙部 ④総務省統計局	①日本統計協会 ②日本統計協会	①1987 ②1988 ③2014、2017、2021 ④2015、2018、2022	左記出典をもとに著者作成
228	選挙を管轄していた内務省作成のポスター	写真						法政大学大原社会問題研究所
229	鳩山一郎候補者の選挙ポスター	写真						慶應義塾図書館
229	船にはられた選挙ポスター	写真	第一回普選と選挙ポスター	19	玉井清	慶應義塾大学出版会	2013	
229	雪だるまにはられた選挙ポスター	写真	第一回普選と選挙ポスター	20	玉井清	慶應義塾大学出版会	2013	
229	立憲政友会の選挙ポスター	写真						慶應義塾図書館
229	立憲民政党の選挙ポスター	写真						法政大学大原社会問題研究所
230	タイピスト	写真						毎日新聞社
230	電話交換手	写真						共同通信社
230	応接間の付いた文化住宅 (復元)	写真						新宿歴史博物館

230	『改造』	写真							日本近代文学館
230	『キング』	写真							日本近代文学館
231	東京・浅草六区の映画街	写真							東京都立中央図書館
231	ラジオのある居間	写真							共同通信社
231	阪神甲子園球場	写真							阪神電気鉄道株式会社
231	芥川龍之介	写真							日本近代文学館
231	『蟹工船』	写真							日本近代文学館
232	大量生産される自動車	写真							ユニフォトプレス提供
232	株価暴落で混乱するウォール街	写真							ユニフォトプレス提供
232	イギリスの失業者	写真	The Mainstream of Civilization Since 1500	72	Joseph R. Strayer他	Harcourt Brace Jovanovich ink	1974		
233	フランクリン＝ローズヴェルト	写真							PPS通信社提供
233	各国の鉱工業生産の推移	グラフ	近現代日本経済史要覧 補訂版	114	三和良一ほか	東京大学出版会	2017 (第3刷)		左記出典をもとに著者作成
233	ノリス＝ダム	写真							ユニフォトプレス提供
233	ソ連のポスター	写真							ユニフォトプレス提供
234	ヒトラーとムッソリーニ	写真							ユニフォトプレス提供
234	ナチスの党大会	写真							ユニフォトプレス提供
234	ナチスの国会議席数と得票率の推移	グラフ	ナチズムの時代	21	山本秀行	山川出版社	1998		左記出典をもとに著者作成
235	学校から追放されるユダヤ人	写真							PPS通信社提供
235	ナチスの青少年組織ヒトラー＝ユーゲントへの入隊をうながす本	写真	HITLER'S PROPAGANDA MACHINE	11		Bison Books	1978		
235	アウトバーン建設工事	写真							PPS通信社提供
235	破壊されたユダヤ人の商店	写真							ユニフォトプレス提供
236	主な政党の変遷	図							著者作成
236	第1回普通選挙における投票所の様子	写真							朝日新聞社
236	もみを集める子どもたち	写真							毎日新聞社
237	北伐の進展	地図							著者作成
237	張作霖爆殺事件	写真							山形新聞社
237	蒋介石	写真							ユニフォトプレス提供
237	浜口雄幸	写真							国立国会図書館
238	満洲事変の広がり	地図							著者作成
238	満洲の開拓	写真							友常健一 水戸市立博物館提供
238	満洲事変前の東京帝国大学の学生に対する意識調査	グラフ	現代学生の実態	59	大学新聞連盟	鱒書房	1948		左記出典をもとに著者作成
238	リットン調査団	写真							共同通信社
239	五・一五事件を伝える新聞記事（『東京朝日新聞』、1932年5月16日）	写真							国立国会図書館
239	二・二六事件	写真							朝日新聞社
239	歳出にしめる軍事費の割合	グラフ	長期経済統計7 財政支出	170-171、186-189	江見康一ほか	東洋経済新報社	1966		左記出典をもとに著者作成

239	重化学工業の発展	グラフ	長期経済統計10 鉱工業	142-143	篠原三代平	東洋経済新報社	1972	左記出典をもとに著者作成
240	日本軍の空襲を受けた重慶（1939年）	写真						共同通信社
240	毛沢東	写真						ユニフォトプレス提供
240	近衛文麿	写真						国立国会図書館
241	日中戦争の拡大	地図	昭和陸軍全史2	ページなし	川田稔	講談社	2014	左記出典をもとに著者作成
241	節約を訴えるスローガン	写真						毎日新聞社
241	配給された衣料切符	写真						台東区立下町風俗資料館
241	国民学校の児童	写真						毎日新聞社
242	ピカソ「ゲルニカ」	写真						ユニフォトプレス提供
242	廃墟になったゲルニカ	写真						PPS通信社提供
242	第二次世界大戦中の国際関係	図						著者作成
243	第二次世界大戦中のヨーロッパ	地図						著者作成
243	ポーランドへ侵攻するドイツ軍	写真						ユニフォトプレス提供
243	強制収容所に送られるユダヤ人	写真						ユニフォトプレス提供
243	アウシュヴィッツ強制収容所の門	写真						ユニフォトプレス提供
244	日本の軍需物資の国別輸入額(1940年)	グラフ	昭和史（新版）	188	遠山茂樹ほか	岩波書店	1959	左記出典をもとに著者作成
244	日米間の国力比較	グラフ	軍備拡張の近代史	214	山田朗	吉川弘文館	1997	左記出典をもとに著者作成
244	ハワイ真珠湾攻撃(日本時間1941年12月8日)	写真						ユニフォトプレス提供
244	「仲よし三国」の絵葉書	写真						public domain
245	開戦時の日本の新聞（『読売新聞』、1941年12月9日）	写真						国立国会図書館
245	太平洋戦争	地図						著者作成
245	マンガ『のらくろ』に見られる戦争の影響	写真						講談社（田川水泡） 日本近代文学館提供
246	学徒出陣	写真						共同通信社
246	召集令状	写真						南風原文化センター
246	戦争中のスローガン	写真						清水恒明 北区立中央図書館提供
246	勤労働員	写真						朝日新聞社
246	金属の回収を呼びかけるパンフレット	写真						札幌市公文書館
247	東京大空襲(1945年3月10日)	写真						朝日新聞社
247	学童の集団疎開	写真						毎日新聞社
248	ノルマンディー上陸	写真						PPS通信社提供
248	ヤルタ会談	写真						ユニフォトプレス提供
248	ポツダム会談	写真						ユニフォトプレス提供
248	軍艦ミズーリ号に体当たり攻撃する特攻機	写真						共同通信社
249	広島の爆心地(米軍撮影)	写真						広島平和記念資料館
249	原爆投下後の長崎	写真						長崎原爆資料館
249	沖縄戦	写真						共同通信社
249	「玉音放送」を聞く日本国民	写真						PPS通信社提供
249	降伏文書の調印	写真						共同通信社

250	爆心地を中心とした被爆地図	地図	広島・長崎の原爆災害	28-29	広島市長崎市原爆災害誌編集委員会	岩波書店	1979	左記出典をもとに著者作成
250	相生橋	写真						広島市
250	爆心地碑	写真						広島観光コンベンションビューロー
250	被爆直後の広島県物産陳列館(原爆ドーム、米軍撮影)	写真						広島平和記念資料館
250	被爆前の広島県物産陳列館(1915年建設)	写真						広島平和記念資料館
250	オバマ大統領広島訪問の記事(『中国新聞』、2016年5月28日)	写真						中国新聞
251	厳島神社	写真						厳島神社 廿日市市提供
251	『平家納経』	写真						厳島神社 田中真知郎
251	原水爆禁止世界大会	写真						共同通信社
251	広島平和記念資料館	写真						広島観光コンベンションビューロー
251	「大和ミュージアム」(呉市海事歴史科学館)	写真						大和ミュージアム
251	海上自衛隊第1術科学校(旧海軍兵学校)	写真						海上自衛隊第1術科学校
251	こうの史代『この世界の片隅に』	写真						株式会社ジェンコ
251	広島東洋カープ	写真						株式会社広島東洋カープ
254	マッカーサーと昭和天皇	写真						共同通信社
254	日本国憲法	写真						国立公文書館
254	サンフランシスコ平和条約の調印	写真						毎日新聞社
254	安保改定反対の国会デモ	写真						朝日新聞社
254	中華人民共和国の成立	写真						ユニフォトプレス提供
254	アポロ11号の月面着陸	写真						ユニフォトプレス提供
254	ベトナム戦争	写真						PPS通信社提供
254	イラン=イスラーム革命	写真						ユニフォトプレス提供
255	東京オリンピック(1964年)	写真						共同通信社
255	右側通行の沖縄県内の国道58号線	写真						那覇市歴史博物館
255	中国から到着したパンダ	写真						共同通信社
255	平成改元	写真						共同通信社
255	自衛隊の国際貢献	写真						内閣府国際平和協力本部事務局
255	東日本大震災	写真						共同通信社
255	チョルノービリ原発事故	写真						ユニフォトプレス提供
255	ベルリンの壁崩壊	写真						ユニフォトプレス提供
255	アメリカ同時多発テロ	写真						ユニフォトプレス提供
255	オバマの「核なき世界」演説	写真						ユニフォトプレス提供
256	復員	写真						毎日新聞社
256	マッカーサー(左)と昭和天皇(右)	写真						共同通信社
256	連合国軍による日本の占領	図						著者作成
257	極東国際軍事裁判(東京裁判)	写真						朝日新聞社
257	女性の衆議院議員	写真						読売新聞社
257	農地改革のポスター	写真						国立公文書館



257	農地改革前後の変化	グラフ	①農林省統計表 第21次 ②農地改革顛末概要	①4、5、 35 ②646- 647	①農林省総務部 統計課 ②農地改革記録 委員会	①総務部統計 課 ②農政タイム ズ社出版部	①1946 ②1957	左記出典をもとに著者作成
258	日本国憲法	史料	日本国憲法御署名原本				1946	国立公文書館デジタルアーカイブ
258	日本国憲法の原本	写真						国立公文書館
258	大日本帝国憲法と日本国憲法の比較	表						著者作成
258	日本国憲法公布にともなう法律の制定・改正(1947～48年)	表						著者作成
259	教育体系の変化	図						著者作成
259	墨ぬり教科書	写真						当社所蔵
259	戦後の女性と社会	表						著者作成
261	憲法の原則を示した挿絵	写真	あたらしい憲法のはなし	5	文部科学省	実業教科書	1947	
261	三権分立を示した挿絵	写真	あたらしい憲法のはなし	13	文部科学省	実業教科書	1947	
261	戦争放棄の理念を示した挿絵	写真	あたらしい憲法のはなし	19	文部科学省	実業教科書	1947	
262	国際連合本部	写真						ユニフォトプレス提供
262	冷戦時代の世界の諸同盟と第二次世界大戦後の独立国	地図						著者作成
262	朝鮮戦争の推移	地図						著者作成
263	ホー＝チ＝ミン	写真						ユニフォトプレス提供
263	民家を燃やすアメリカ兵	写真						時事通信フォト提供
263	アジア＝アフリカ会議	写真						ユニフォトプレス提供
264	サンフランシスコ平和条約に調印する吉田茂首相(1951年9月8日)	写真						毎日新聞社
264	日米安全保障条約の改定に反対し国会を取り巻く人々(1960年)	写真						朝日新聞社
264	戦後のインフレーション	グラフ	昭和国勢総覧 下巻	222	東洋経済新報社	東洋経済新報社	1987	左記出典をもとに著者作成
265	安全保障に関する日米間の旧安保条約と新安保条約	表						著者作成
265	自衛隊の発足(1954年7月1日)	写真						共同通信社
266	中国から到着したパンダ(1972年10月)	写真						共同通信社
266	日ソ共同宣言	史料	日本外交主要文書・年表(第1巻)	785-786	鹿島平和研究所	原書房	1983	
266	日韓基本条約	史料	日本外交主要文書・年表(第2巻)	570-571	鹿島平和研究所	原書房	1984	
267	日中共同声明	史料	日本外交主要文書・年表(第3巻)	593	鹿島平和研究所	原書房	1985	
267	佐藤栄作	写真						内閣広報室
267	アメリカ軍基地の分布(2023年1月)	グラフ	在日米軍施設・区域(専用施設)都道府県別面積(防衛省ウェブページ掲載)		防衛省		2023	左記出典をもとに著者作成
267	沖縄県のアメリカ軍基地(2018年12月)	地図	沖縄の米軍基地(沖縄県ウェブページ掲載)	ページなし	沖縄県		2018	左記出典をもとに著者作成
268	北方領土の変遷	地図						著者作成

268	ソ連の樺太・千島への進攻（1945年）	地図	われらの北方領土 資料編 (2018年版)	奥付	外務省	外務省	2019	左記出典をもとに著者作成
268	日ソ共同宣言調印式（1956年10月19日）	写真						アフロ提供
268	サンフランシスコ平和条約	史料	日本外交主要文書・年表（第1巻）	420-421	鹿島平和研究所	原書房	1983	
269	日本の領土の変遷	地図						著者作成
269	竹島周辺	地図						著者作成
269	尖閣諸島周辺	地図						著者作成
269	尖閣諸島	写真						朝日新聞社
269	魚釣島にあった日本のかつお節工場	写真						朝日新聞社
270	戦後の日本の経済成長率（実質）の推移	グラフ	①日本長期統計総覧 第3巻 ②国民経済計算	①363、 374-375	①総務庁統計局 ②内閣府	①日本統計協会	①1988	左記出典をもとに著者作成
270	東海道新幹線の開業（1964年10月）	写真						ユニフォトプレス提供
270	エネルギー供給の推移	グラフ	令和2年度エネルギーに関する年次報告（資源エネルギー庁ウェブページ掲載）		資源エネルギー庁		2021	左記出典をもとに著者作成
270	東名高速道路の開通	写真						朝日新聞社
271	四大公害訴訟	表						著者作成
271	原油価格の変化	グラフ	BP世界エネルギー統計2021（BPウェブページ掲載）		BP		2021	左記出典をもとに著者作成
271	日本車をこわすアメリカ人	写真						AP/アフロ
272	オリンピック東京大会（東京オリンピック）	写真						共同通信社
272	日本万国博覧会（大阪万博）	写真						朝日新聞社
272	アメリカ文化の流入	写真						中里裕司
273	多摩ニュータウン	写真						ユニフォトプレス提供
273	「三種の神器」と3Cの家庭への普及率	グラフ	消費動向調査（内閣府ウェブページ掲載）		内閣府		2021	左記出典をもとに著者作成
273	大橋鎮子	写真						暮らしの手帖社
274	ベルリンの壁をこえる市民たち	写真						ユニフォトプレス提供
274	ベルリンの壁を破壊する西ベルリン市民	写真						ユニフォトプレス提供
274	イスラエルの建国宣言	写真						ユニフォトプレス提供
275	イラン＝イスラーム革命（1979年）	写真						時事通信フォト提供
275	演説するキング牧師	写真						Getty Images提供
275	マルタ会談	写真						ユニフォトプレス提供
275	チョルノービリ原発事故	写真						ユニフォトプレス提供
275	湾岸戦争	写真						時事通信フォト提供
276	那覇を中心とした地図	地図						著者作成
276	今帰仁城跡	写真						今帰仁村観光協会
276	斎場御嶽	写真						沖縄観光コンベンションビューロー 当社所蔵
277	2000円札	写真						当社所蔵
277	復元された首里城の門（守礼門）	写真						沖縄美ら島財団首里城公園管理部
277	日本軍（第32軍）の施設跡	写真						那覇市

277	琉球大学	写真						琉球大学
277	沖縄県内の国道58号線	写真						那覇市歴史博物館
277	琉球郵便切手	写真						郵政博物館
277	道の駅かでなのデンベル表示	写真						アマナイメーجز提供
277	免税品店（DFS）	写真						当社所蔵
278	主な地域統合・地域協力（2022年）	地図						著者作成
278	同時多発テロ事件	写真						ユニフォトプレス提供
278	オバマ大統領	写真						ユニフォトプレス提供
279	A S E A N首脳会議	写真						ユニフォトプレス提供
279	ユーロ	写真						PPS通信社提供
279	日本のPKO	写真						内閣府国際平和協力本部事務局
279	国境なき医師団	写真						PPS通信社提供
280	「令和」の元号発表（当時の菅義偉官房長官）	写真						共同通信社
280	東京2020パラリンピック（2021年）	写真						共同通信社
280	株価と地価の推移	グラフ	近現代日本経済史要覧 補訂版	185	三和良一ほか	東京大学出版会	2017（第3刷）	左記出典をもとに著者作成
280	阪神・淡路大震災（1995年1月17日）	写真						共同通信社
281	東日本大震災での津波の様子（2011年3月11日）	写真						共同通信社
281	少子高齢化の進行	図	高齢社会白書 令和3年版	4	内閣府		2021	左記出典をもとに著者作成
281	国際貢献と平和外交	写真						国連難民高等弁務官事務所
裏見返し	現代の世界	地図						著者作成

（備考）1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽膳、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 (1) 写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

- (2) 著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。

## ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書		学習上の参考に供する情報				備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	19	二次元コード	自社ページ NHK for School	自社ページURL <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005410026_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005410026_00000</a>	ピラミッドを紹介する動画	別紙1-1 別紙1-2
2	21	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	ギリシア文明の遺跡と遺物を紹介するページ	別紙2-1～別紙2-8
3	25	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	『コーラン』を唱える様子を紹介する動画	別紙3
4	31	二次元コード	自社ページ NHK for School	自社ページURL <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005403014_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005403014_00000</a>	銅鐸のつくり方を紹介する動画	別紙4-1 別紙4-2
5	47	二次元コード	自社ページ 奈良文化財研究所	自社ページURL <a href="https://nazoru.nabunken.go.jp/v2">https://nazoru.nabunken.go.jp/v2</a>	なぞることで木簡に記された文字を学ぶことができるアプリケーションを使用できるページ	別紙5-1 別紙5-2
6	47	二次元コード	自社ページ NHK for School	自社ページURL <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310022_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310022_00000</a>	大仏ができるまでの工程を紹介する動画	別紙6-1 別紙6-2
7	53	二次元コード	自社ページ 藤田美術館	自社ページURL <a href="https://fujita-museum.or.jp/topics/2021/02/12/1334/">https://fujita-museum.or.jp/topics/2021/02/12/1334/</a>	『紫式部日記絵詞』を紹介するページ	別紙7-1 別紙7-2-1～別紙7-2-5

8	53	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	「阿波国戸籍」の拡大図	別紙8
9	59	二次元コード	自社ページ 九州国立博物館	自社ページURL <a href="https://www.kyuhaku.jp/exhibition/exhibition_info01.html">https://www.kyuhaku.jp/exhibition/exhibition_info01.html</a>	九州国立博物館の文化交流 展示室を紹介するページ	別紙9-1 別紙9-2-1～別紙 9-2-4
10	72	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	「伯耆国東郷荘の下地中分 図」の全体図・部分図	別紙10-1～別紙 10-8
11	73	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	「備前国福岡市」の拡大図	別紙11
12	75	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	「踊念仏」の拡大図	別紙12
13	88	二次元コード	自社ページ NHK for School	自社ページURL <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005403042_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005403042_00000</a>	琉球王国を紹介する動画	別紙13-1 別紙13-2
14	91	二次元コード	自社ページ 公益財団法人アイ ヌ民族文化財団	自社ページURL <a href="https://www.ff-ainu.or.jp/">https://www.ff-ainu.or.jp/</a>	アイヌ民族文化財団を紹介 するページ	別紙14-1 別紙14-2-1 別紙14-2-2
15	93	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	『洛中洛外図屏風』（上杉 本）右隻の全体図・部分図	別紙15-1～別紙 15-22
16	98	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	『洛中洛外図屏風』（歴博 甲本）右隻の全体図・部分 図	別紙16-1～別紙 16-7

17	113	二次元コード	自社ページ	自社ページURL
----	-----	--------	-------	----------

『南蛮屏風』右隻の全体 図・部分図	別紙17-1～別紙 17-8
----------------------	-------------------

18	113	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	『倭寇図巻』の部分図	別紙18-1～別紙18-3
19	114	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	『長篠合戦図屏風』の全体図・部分図	別紙19-1～別紙19-6
20	119	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	キリシタン版『平家物語』の拡大図	別紙20
21	133	二次元コード	自社ページ NHK for School	自社ページURL <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310191_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310191_00000</a>	人形浄瑠璃『曾根崎心中』を紹介する動画	別紙21-1 別紙21-2
22	134	二次元コード	自社ページ 国立歴史民俗博物館	自社ページURL <a href="https://www.rekihaku.ac.jp/education_research/gallery/webgallery/edozu/index.html">https://www.rekihaku.ac.jp/education_research/gallery/webgallery/edozu/index.html</a>	『江戸図屏風』を紹介するページ	別紙22-1 別紙22-2
23	136	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	『河内名所図会』の拡大図	別紙23
24	139	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	『尾張名所図会』の拡大図	別紙24
25	143	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	オランダ正月の様子の全体図・部分図	別紙25-1～別紙25-6
26	143	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	『富嶽三十六景』のうち10図	別紙26-1～別紙26-10
27	167	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	現在の台場の写真・江戸時代の台場の絵図	別紙27-1～別紙27-4

28	181	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	銀座れんが街の全体図・部分図	別紙28-1～別紙28-6
29	184	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	「序」「銀の滴降る降るまわりに」（『アイヌ神謡集』所収）の全文	別紙29-1 別紙29-2-1～別紙29-2-4
30	184	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	「第一回 春」（『沖縄対話』所収）の拡大図	別紙30-1～別紙30-6
31	197	二次元コード	自社ページ 国立国会図書館	自社ページURL <a href="https://rekion.dl.ndl.go.jp/pid/1318193">https://rekion.dl.ndl.go.jp/pid/1318193</a>	東郷平八郎の声を聞くことができるページ	別紙31-1 別紙31-2
32	207	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	山本作兵衛の炭坑記録画のうち5図	別紙32-1～別紙32-5
33	224	二次元コード	自社ページ NHK for School	自社ページURL <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005403083_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005403083_00000</a>	米騒動の様子を紹介する動画	別紙33-1 別紙33-2
34	235	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	ヒトラーの演説を紹介する動画	別紙34



35	245	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	真珠湾攻撃時のアメリカの新聞	別紙35-1～別紙35-10
36	247	二次元コード	自社ページ NHK	自社ページURL <a href="https://www.nhk.or.jp/archives/sensou/">https://www.nhk.or.jp/archives/sensou/</a>	NHKの所有する太平洋戦争関連の動画などを見ることができるページ	別紙36-1 別紙36-2-1～別紙36-2-5
37	249	二次元コード	自社ページ NHK for School	自社ページURL <a href="https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005402868_00000">https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005402868_00000</a>	玉音放送を紹介する動画	別紙37-1 別紙37-2
38	257	二次元コード	自社ページ	自社ページURL	農地改革関係のポスター4図	別紙38-1～別紙38-4
39	260	二次元コード	自社ページ 国立公文書館	自社ページURL <a href="https://www.digital.archives.go.jp/DAS/pickup/view/category/categoryArchives/0100000000/0101000000/01">https://www.digital.archives.go.jp/DAS/pickup/view/category/categoryArchives/0100000000/0101000000/01</a>	大日本帝国憲法や日本国憲法の原文などを紹介するページ	別紙39-1 別紙39-2-1 別紙39-2-2
40	269	二次元コード	自社ページ 外務省	自社ページURL <a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/territory/">https://www.mofa.go.jp/mofaj/territory/</a>	日本の領土をめぐる情勢を紹介するページ	別紙40-1 別紙40-2

# NHK for School

## 世界遺産 エジプトの ピラミッド地帯



この資料は上の画像をクリックして遷移先の外部サイトで参照してください

(教科書名入る) P.19

世界遺産 エジプトのピラミッド地帯

YCH5200100

提供元 : NHK for School



再生開始 00 : 00 ~ 再生終了 01 : 23

決定



## ねらい

世界遺産ピラミッドの概要について知る。

## 内容

砂漠に立ち並ぶピラミッド。紀元前2700年ごろから500年に渡って造られました。古代エジプト文明の象徴として、世界遺産に登録されています。そのうちの一つ、クフ王のピラミッドの内部を見てみましょう。エジプト最大のピラミッドの内部にはいくつもの空間があります。中央部にある「王の間」は、かつては王の墓だと伝えられてきました。しかしミイラも、死者に添える副葬品も発見されていないため、最新の研究では宗教施設だったとも考えられています。また、およそ1000のピラミッドすべてに共通するものは、ナイル川の西にクフピラミッド、西は太陽が

## 世界遺産 エジプトのピラミッド地帯

世界遺産ピラミッドがある場所や、内部のようすについて説明します。

関連キーワード： [ピラミッド](#) [エジプト](#) [世界遺産](#) [砂漠](#) [ナイル](#)

シェアする ?

この動画への  
リンクをコピーするいちらん  
ばんぐみ一覧プレイリスト  
おうちで学ぼう！

学びをひろげよう

- ものすごい図鑑
- りかまっぷ
- ワイワイプログラミング
- 出川哲朗のクイズほお〜スクール
- 戦争について考えてみよう
- 世界を応援しよう！
- #あちこちのすずさん
- アニメ×バラ~あなたのヒーローは誰ですか~
- 植物 地球を支える仲間たち
- いろとりどり
- ものすごい図鑑 文化財編
- GIGAサポ いろはにひふみ

ヘルプ

- よくある質問
- NHK for School の使い方 (動画)
- NHK for School アプリ
- NHKキッズ アプリ
- NHK for School API
- 番組表 (PDF)
- サイトマップ

リンク集

## NHK

NHKについて

ご意見・お問い合わせ

プライバシーセンター

プライバシーポリシー

NHK一般サイト プライバシーノーティス  
(パーソナルデータの取り扱い)

放送番組と著作権

NHKインターネットサービス利用規約

「NHK一般サイト プライバシーノーティス (パーソナルデータの取り扱い)」を公表しました。こちらからご覧ください。



### アクロポリス全景

丘の上にはアテネの守護神アテネ女神をまつるパルテノン神殿が建つ。アクロポリスは城砦であるとともに、宗教の中心でもあった。丘のふもと左手に見えるのはローマ時代に建造されたヘロデス=アッティコス劇場跡。

(著者提供)



🖼️ 全画面モード

(教科書名入る) P.21

## ギリシア文明の遺跡と遺物

YCH1200100

提供元：著者提供 / Wikimedia Commons



### アテネの城壁跡

アテネのケラメイコス遺跡に残る古代の城壁。ポリスの市街地は外敵の攻撃に備えて城壁で囲まれていた。戦争になると市民たちは家財や家畜とともに城壁の内側に避難して籠城した。

(著者提供)



🗨️ 全画面モード

(教科書名入る) P.21

## ギリシア文明の遺跡と遺物

YCH1200100

提供元：著者提供 / Wikimedia Commons



### アテネのディオニュソス劇場跡

毎年早春、アクロポリス南麓にあるディオニュソス神域の劇場では盛大に演劇祭がもよおされた。ここで上演された悲劇や喜劇の脚本は、古典として今日に残る。ディオニュソス神はブドウと酒の神。紀元前4世紀後半。

(著者提供)



☒ 全画面モード

(教科書名入る) P.21

## ギリシア文明の遺跡と遺物

YCH1200100

提供元：著者提供 / Wikimedia Commons



### デルフォイのアポロン神殿跡

ギリシア神話に登場するオリンポス12神の一人アポロン神は、神託の神としても知られる。古代ギリシア人は公私のあらゆる問題の解決を、デルフォイのアポロンが下す神託に求めた。

(著者提供)



☒ 全画面モード

(教科書名入る) P.21

### ギリシア文明の遺跡と遺物

YCH1200100

提供元：著者提供 / Wikimedia Commons



### ブニュクスの民会議場跡（アテネ）

アテネ市街の西方、ブニュクスの丘の上には、古代の民会議場の遺跡が残る。右手前は演壇、左手後方にはアクロポリスが見える。一万人をこえる市民を収容できた。今日残る遺跡は紀元前4世紀後半のもの。

（著者提供）



☒ 全画面モード

（教科書名入る） P.21

## ギリシア文明の遺跡と遺物

YCH1200100

提供元：著者提供/Wikimedia Commons





### 民会議場の演壇

プニユクスの丘、民会議場に残る演壇。アテネの成年男性市民であれば、だれでもここに上がって国策を提案することが許された。下から三段目のスペースに上がって演説した。

(著者提供)



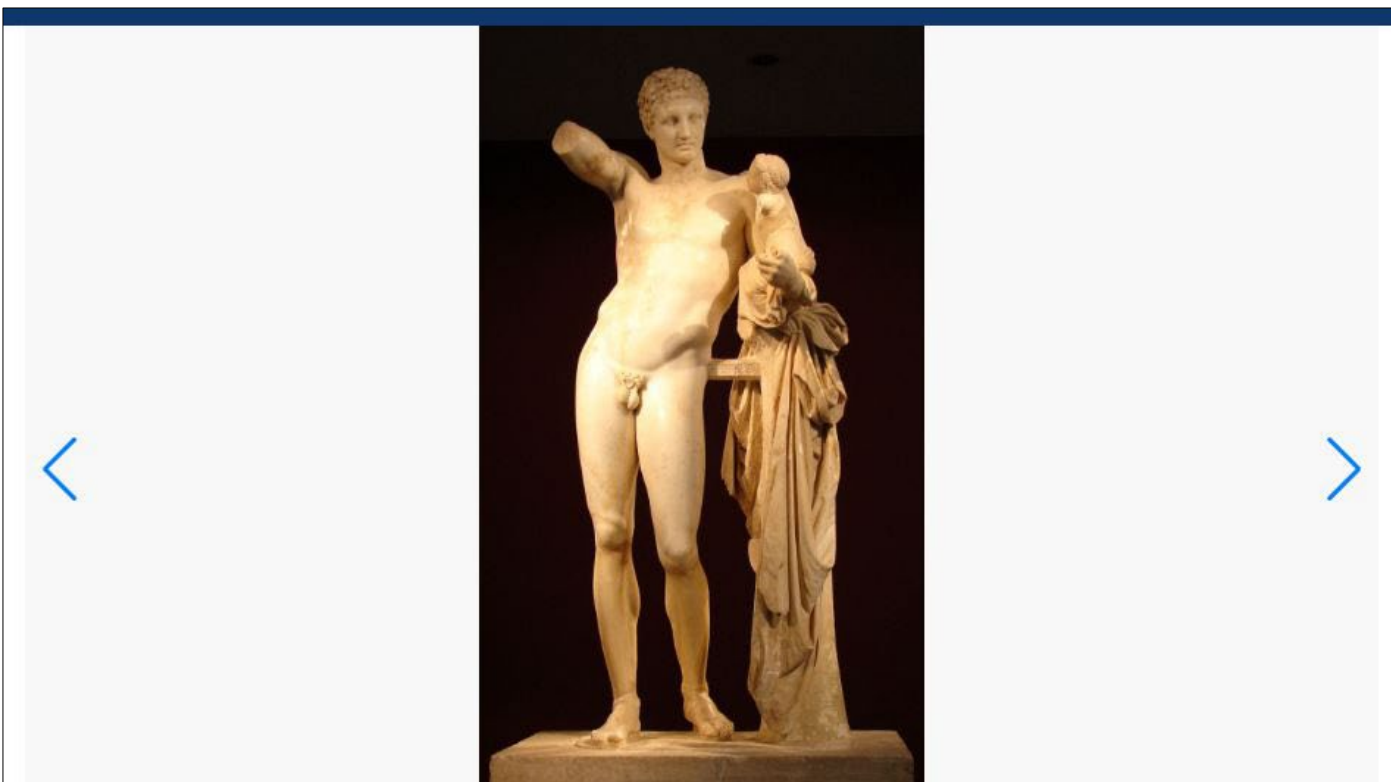
☒ 全画面モード

(教科書名入る) P.21

## ギリシア文明の遺跡と遺物

YCH1200100

提供元：著者提供 / Wikimedia Commons



### ブラクシテレス作ヘルメス神像

幼いディオニュソス神をだいてあやすヘルメス神を表現した、古代ギリシア彫刻の最高傑作の一つ。古代オリンピックの開催地オリンピアで発見された。作者とされる彫刻家ブラクシテレスは紀元前4世紀中ごろに活躍。(Wikimedia Commons)



☒ 全画面モード

(教科書名入る) P.21

### ギリシア文明の遺跡と遺物

YCH1200100

提供元：著者提供/Wikimedia Commons



#### アテネの4ドラクマ銀貨

古代ギリシア世界で最も広く流通した貨幣。表（右）にはアテネの国章であるフクロウを、裏（左）には守護神アテネ女神の横顔を刻印する。ドラクマは重さの単位で、4ドラクマは約17.5グラム。（Wikimedia Commons）



☒ 全画面モード

（教科書名入る） P.21

#### ギリシア文明の遺跡と遺物

YCH1200100

提供元：著者提供/Wikimedia Commons



🖥️ 全画面モード

(教科書名入る) P.25

『コーラン』を唱える様子

YCH2200100  
提供元：ユニフォトプレス

# NHK for School

## 銅鐸のつくり方



この資料は上の画像をクリックして遷移先の外部サイトで参照してください

(教科書名入る) P.31

銅鐸のつくり方

YCH5200200

提供元：NHK for School



再生開始 00 : 00 ~ 再生終了 02 : 01

決定



## ねらい

銅鐸の製造方法から、当時の技術力がわかる。

## 内容

銅鐸は、どのように作られたのでしょうか。小泉武寛（ぶかん）さんが、古代の製法を再現しました。銅鐸の鑄型（いがた）は、はじめは石を彫って作られましたが、やがて加工しやすい土を使うようになりました。銅鐸作りには、鑄型が2つ必要になります。「外型」が出来たら、その内側に粘土を詰めて「内型」を作ります。出来た内型の表面を削って、外型との間に隙間を作ります。ここでポイントとなるのが、「型持（かたもち）」と呼ばれる部分です。数箇所、削り残しておくことで、隙間が一定に保たれるのです。銅鐸に使われた青銅には、鉛が加えられてい

## 銅鐸のつくり方

代表的な青銅器のひとつ、銅鐸の作り方です。鑄型を使って作ります。

関連キーワード： ヤヨイ ドウタク

シェアする ?



この動画へのリンクをコピーする

 ▶ ぼんぐみ一覧  
いちらん

 ▶ プレイリスト  
 ▶ おうちで学ぼう！

学びをひろげよう

- ▶ ものすごい図鑑
- ▶ りかまつぶ
- ▶ ワイワイプログラミング
- ▶ 出川哲朗のクイズほお〜スクール
- ▶ 戦争について考えてみよう
- ▶ 世界を応援しよう！
- ▶ #あちこちのすずさん
- ▶ アニ×バラ〜あなたのヒーローは誰ですか〜
- ▶ 植物 地球を支える仲間たち
- ▶ いろとりどり
- ▶ ものすごい図鑑 文化財編
- ▶ GIGAサポ いろはにひふみ

ヘルプ

- ▶ よくある質問
- ▶ NHK for School の使い方（動画）
- ▶ NHK for School アプリ
- ▶ NHKキッズ アプリ
- ▶ NHK for School API
- ▶ 番組表（PDF）
- ▶ サイトマップ

▶ リンク集

## NHK

 NHKについて  
 ご意見・お問い合わせ

 プライバシーセンター  
 プライバシーポリシー  
 NHK一般サイト プライバシーノーツ  
 （パーソナルデータの取り扱い）

放送番組と著作権

NHKインターネットサービス利用規約

「NHK一般サイト プライバシーノーツ（パーソナルデータの取り扱い）」を公表しました。こちらからご覧ください。

# ナゾルクン



この資料は上の画像をクリックして遷移先の外部サイトで参照してください

(教科書名入る) P.47

ナゾルクン

YCH5200300

提供元：奈良文化財研究所

# ナゾルクン

昔の文字をなぞってみよう。

## ナゾルクンの遊び方



木箱の画像も見られるよ!!

## Cookie (クッキー) について

本アプリは、本アプリ使用においてお客様の利便性向上、サイト閲覧、参加状況の統計的な把握、及び最適な画面表示等を目的としてCookie (クッキー) を利用しています。  
Cookieとは、お客様が本アプリを使用したと

はじめる



# NHK for School 大仏ができるまで



この資料は上の画像をクリックして遷移先の外部サイトで参照してください

(教科書名入る) R.47

大仏ができるまで

YCH5200400

提供元 : NHK for School



00:00 / 02:06

再生開始 00 : 00 ~ 再生終了 02 : 06

決定

## ねらい

聖武天皇（しょうむてんのう）が、当時の最新の技術を取り入れて、多くの人びとの力によって大仏をつくったようすがわかる。

## 内容

奈良・東大寺の大仏。今から約1300年前につくられました。高さ15mもの大仏づくりには、当時の最新の技術が使われました。まず、仏像の中心に柱を立て、竹や木で骨組みをつくりまわります。まわりを粘土でぬり固め、大仏のもととなる形にしていきます。そのまわりに土を盛り、何回かに分けて下から順に銅を流しこんだと考えられています。粘土でできた大仏とのあいだにすきまをつくり、どかした銅を流します。銅の温度は1000度以上、はじ

## 大仏ができるまで

今からおよそ1300年前につくられた奈良・東大寺の大仏。大仏をつくる技術は、当時の最新技術が取り入れられ9年の歳月（さいげつ）をかけた。

関連キーワード： [東大寺](#) [大仏](#) [開眼供養](#)

シェアする ?



この動画へのリンクをコピーする

 いちらん  
 ▶ ばんぐみ一覧

 ▶ プレイリスト  
 ▶ おうちで学ぼう！

学びをひろげよう

- ▶ ものすごい図鑑
- ▶ りかまっぷ
- ▶ ワイワイプログラミング
- ▶ 出川哲朗のクイズほおへスクール
- ▶ 戦争について考えてみよう
- ▶ 世界を応援しよう！
- ▶ #あちこちのすずさん
- ▶ アニ×バラ～あなたのヒーローは誰ですか～
- ▶ 植物 地球を支える仲間たち
- ▶ いろいろどり
- ▶ ものすごい図鑑 文化財編
- ▶ GIGAサボ いろはにひふみ

ヘルプ

- ▶ よくある質問
- ▶ NHK for School の使い方（動画）
- ▶ NHK for School アプリ
- ▶ NHKキッズ アプリ
- ▶ NHK for School API
- ▶ 番組表（PDF）
- ▶ サイトマップ

▶ リンク集

## NHK

NHKについて

ご意見・お問い合わせ

プライバシーセンター

プライバシーポリシー

NHK一般サイト プライバシーノーツ  
(パーソナルデータの取り扱い)

放送番組と著作権

NHKインターネットサービス利用規約

「NHK一般サイト プライバシーノーツ（パーソナルデータの取り扱い）」を公表しました。[こちらからご覧ください。](#)

# 『紫式部日記絵詞』



この資料は上の画像をクリックして遷移先の外部サイトで参照してください

(教科書名入る) P.53

『紫式部日記絵詞』

YCH5200500

提供元：藤田美術館

## TOPICS

## INTRODUCTORY SELECTION

新野学芸員がやさしくアートを解説します。 | 入門50選\_23 | 紫式部日記絵詞

## 華やかな平安宮中の世界



藤原道長（第5段部分）

—これは何ですか？

絵巻です。

文章とそれに対応する絵で1セット（1段）になっていて、それが繰り返されています。基本的に絵巻は文字から始まり、その文章に対して絵が来ます。文章が長い場合は、その中から印象に残る場面をひとつ描くか、いくつかの場面を連続して描きます。

絵巻は絵本を横に長くつないだようなもので、物語やお経などを題材に多くの作品が作られました。紙を長くつないだ巻物という形態は、奈良時代までに大陸から伝わったと言われ、絵巻は日本で発生、発達しました。

日本に現存する最古の絵巻は平安時代末の源氏物語絵巻です。

—何でできていますか？

紙を長くつないだ巻子です。

あまり紙が長くなると、太くなったり、重くなったりして扱いにくいので、適当な長さに調整して作ります。

つなげた紙の末端に軸木を取り付け、軸木を芯にして紙を巻きます。

最も外側に美しい布を貼った表紙を貼り合せ、最後に開かない様に紐を掛けて縛ります。

—大きさはどれくらいですか？

縦21cm、長さ448.8cmです。

—縦はA4の短辺ぐらいですね。絵巻としては小さい方ですか？

そうですね、小さい方です。以前にご紹介した玄奘三蔵絵は紙の縦が40cm近くあります。

—これはどこかに飾ってあったのですか？

絵巻は基本的に飾らず、物語として読むものです。

—内容は何ですか？

平安時代に実在した女性、紫式部の書いた日記「紫式部日記」です。

—紫式部とはどんな人ですか？

生没年は分かっていませんが、西暦900年代の終わりごろ誕生したと思われます。

1005年頃に藤原道長（966～1027）に才能を認められ、道長の娘で一条天皇の后である中宮（ちゅうぐう）彰子（しょうし）に仕えました。藤原道長とも仲が良かったと伝わっています。『源氏物語』の作者として有名です。

—宮中ではどんなことをしていたのでしょうか？

この時は、一条天皇の后に、定子と彰子のふたりが並び立つ状態で、両方の后を中心に、それぞれ華やかなサロンのような場が形成されました。天皇がより足しげく通うように、和歌が詠めるなど教養のある有能な女性を描えました。一条天皇のもう一人の后、定子に仕えた女性に『枕草子』を書いた清少納言がいます。

—「源氏物語」を書いたということは、その中でも紫式部は才女だったのでしょ  
うか？

そうですね。漢文も読みこなし、歌人としても知られています。幼少の頃から  
才能を発揮していたようで、弟が漢文の勉強をしていた横で一緒に聞いている  
紫式部が理解してしまうので、父親が逆だったらよかったと残念がったという  
逸話があります。

—貴族は読み書きができたのでしょうか？

できます。漢字は男の文字と言われますが、正式な文書や公の記録は漢文でし  
た。  
紫式部の頃は、物語や和歌、手紙などに女手と呼ばれた仮名が使われていまし  
た。

—仮名は正式な文字ではなかったということですか？

そうですね。プライベートなもので正式の文書には使いません。

—紫式部日記にはどんなことが書いてあるのでしょうか？

きらびやかな宮中での仕事のあれこれや回想や随想です。  
紫式部の書いた原本は残っていませんが、後の時代の人が書き写した写本が残  
っています。今でいう日記とエッセイの混じったような形式です。  
現在、現代語訳のついた文庫本もありますので、簡単に読むことができます。

—紫式部というのはペンネームですか？

式部は女房の呼び名で、父親の官職から取られた名前です。  
紫は「源氏物語」の音楽から取られたとか、没後の呼び名とか、様々な説があ  
ります。通り名です。一般的には本人の名前というよりは、父親の名前や名字  
から一文字とったりしていたようです。  
紫式部も藤原姓であったことから、藤式部と呼ばれたようです。同じ時代の人  
に清少納言がありますが、清は個人を指して（清原氏）少納言は男の親族がつい  
ていた役職と考えられています。

—この絵巻が作られたのはいつごろですか？

鎌倉時代、13世紀前半に作られたと思われる。  
紫式部は10世紀末から11世紀初頭の人ですので、200年ほど後になります。  
鎌倉時代と考えられる理由は、絵の標式と文字の形、紙の装飾などです。

—200年も経ってから、なぜ作られたのでしょうか？

作られた経緯はわかっていませんが、いくつか説があります。  
鎌倉時代、藤原道長の子孫が、娘を天皇の后としました。世継ぎを産んだこと  
から、先祖の栄光を追慕し、王子誕生の祝賀を込めて作られたのではないかと  
いう説です。

—絵巻はもともと何巻あったのでしょうか？

残っている日記を全て絵巻にすると、全10巻くらいになると予測されていま  
す。  
藤田美術館にあるのは1巻ですが、本来の1巻よりもさらに短い1巻です。詞が5  
段、絵が5段あります。

—他の絵巻はどうなったのですか？

現在、短くなってしまった絵巻が他に3巻。その他、詞と絵のセット（掛軸）  
が2本あるだけです。それらは、他の美術館や博物館などが所蔵しています。  
国宝は五島美術館と藤田美術館にあるものですが、絵巻の姿として見られるの  
は藤田美術館だけです。  
絵巻は貼り合せた紙の糊を剥したり、切り取られたりすることが多く、作られ  
た時のままであることの方が珍しいです。



第5段の詞書と絵

—絵を描いたのは誰ですか？文字を書いたのは誰ですか？

絵も文字も誰が描いた（書いた）か分かっていません。  
絵は宮廷絵師が関わったのではないかと考えられています。  
文字は、筆跡からひとりて書いたと考えられています。後京極流という書の様  
式で、漢字仮名交じり文です。文字を記した紙は金や銀の箔などを使って美し  
く装飾されています。

一繪巻の内容は？

寛弘5年（1008）9月15日から10月16日までの部分です。

道長の孫、敦成（あつひら）親王誕生後の日々について書かれています。



第1段 繪

一1段目は？

親王誕生を祝う、誕生第5夜の祝宴後に列席者が帰る様子を描いています。肩から掛けている茶色っぽい布が引き出物です。かがり火がたかかれており、夜であることが分かります。



第2段 繪

一2段目は？

9月16日夜、道長邸の庭にある池に船を浮かべて遊ぶ、公達と女房の場面です。中宮彰子はお産のため、美家である道長邸に逗留しています。船で遊ぶ女房は、彰子付きの若い女房たちです。今夜は十六夜の月が美しく輝き、生い茂る秋草を照らしています。

一3段目は？

9月16日で2段目の続きです。

道長邸北門に牛車（うしぐるま）が2台止まっています。室中の女房たちが、前触れなく突然お祝いに駆けつけたのです。舟遊びをしていた女房たちは、あわてて邸内へ戻りました。黒に白い模様が入った特徴ある牛や牛飼童が、小さな画面にバランスのよい構成で描かれています。





第4段 絵

—4段目は？

9月17日部屋の中の様子で、寝ている女性が出産後の中宮彰子、その前に座る後ろ向きの女性が紫式部です。御帳台（みちょうだい）という寝所で眠る中宮の美しく清らかな様子を描いています。女房たちの衣装や調度品など白色で統一されていますが、縞で文様が細かく入れられています。白い絵の具や紙は酸化し変色しています。



第5段 絵

—5段目は？

10月16日建物の貫子（すのこ 縁側）に立つ男性が藤原道長です。庭の池に浮かべた2艘の船を見えています。船には率人が乗っています。一条天皇が今日、わが子と妻に会いに道長邸に行幸（ぎょうこう）されるため、饗応の準備が行われています。道長は、率人と船の仕上がりを確認しています。実は、5段の調書のもとにもととと調1段と調1段がありました。このうち調書1段は、関東大震災で焼失しました。

—最も有名な絵はどれですか？

5段です。藤原道長を個人として描く作例は、この紫式部日記絵巻に登場する道長が最古です。社会や歴史の教科書に載る道長像として最も良く知られています。

—道長が生きている時代に描かれた肖像画のようなものはなかったのですか？  
平安時代は、顔をリアルに描かせることはありませんでした。呪詛の対象になったからとも考えられています。

—そうなんですね。

平安時代末に作られた「源氏物語絵巻」を見ると、貴族の顔は引目鉤鼻（ひきめかぎばな）で描かれています。細い線で目を引き、かぎ状の鼻を描きました。

—美人の表現ではないのですか？

描き方の一つです。個人を描かないので特徴を捉えないのです。平安時代の終わり頃から似絵（にせえ）と呼ばれる写実的な顔の表現が出てきます。

—平安時代の絵巻は引目鉤鼻なんですね？

上流階級はそうです。庶民の表現はそんなことはなくて、「信貴山縁起絵巻」を見ると特徴をとらえた顔の表現が見られます。

—他に見所はありますか？

2段と4段の絵です。女性がたくさん描かれていて、十二単とか綺麗な色の衣



装を着ているはずなのに、色のない衣装を着ています。  
中室彰子に皇子が生まれてすぐの頃を描いていますが、昔は出産の時、全員白い衣装を着、白い調度品を使うことが習わしとなっており、それを表現しています。白を用いるのは、出産は死と隣り合わせであり、また、産褥を一種の穢れととらえる、魔除けになるなど、様々な理由が考えられます。  
ただ、宮中の人々の衣装なので、ただの白でなく、銀糸を使って模様を縫いこむなど贅が尽くされていることが、祭式部日記に記されています。

一描かれた直後はどんな風に見えたのでしょうか？  
今は濁って見えますが、できあがった時は白銀だったはずですが。  
絵の具の成分を分析してはいませんが、絵の具の鉛が酸化し、現在は薄い紫色に見えているものと思われます。

一藤田美術館以前はどこにありましたか？  
大正7年に藤田平太郎が上州（現在の群馬県）鍾林（たてばやし）藩主秋元家の売立で落札しました。秋元家以前は後水尾天皇ともいわれているようですが、はっきりしたことは分かっていません。

今回の作品： 国宝 紫式部日記絵詞（むらさきしきぶにつきえことば）

時代 鎌倉時代 13世紀

良質の絵具や材料、丁寧な制作など、平安時代の雰囲気を残す美しい作品です。紫式部や藤原道長など著名な人々が多く関わっていることなど、見た目や内容が分かりやすいのも特徴です。

#### 藤田美術館

明治時代に活躍した実業家、藤田傳三郎と息子の平太郎、徳次郎によって築かれた美術工芸品コレクションを公開するため、1954年に大阪に開館。国宝9件、重要文化財53件を含む世界屈指の日本・東洋美術のコレクションを所蔵。

#### 前野絵里

藤田美術館主任学芸員。所蔵する日本や東洋の古美術品に絡むものはもちろん、宗教、建築、歴史なんでも気になる。直接役立つことも役立たないことも体験体感することが一番と考えている。

PREV

INDEX

NEXT

## 入門 50 選 INTRODUCTORY SELECTION



INTRODUCTORY SELECTION  
人々を魅了する神秘の美



INTRODUCTORY SELECTION  
遠州好みの華やかな茶碗



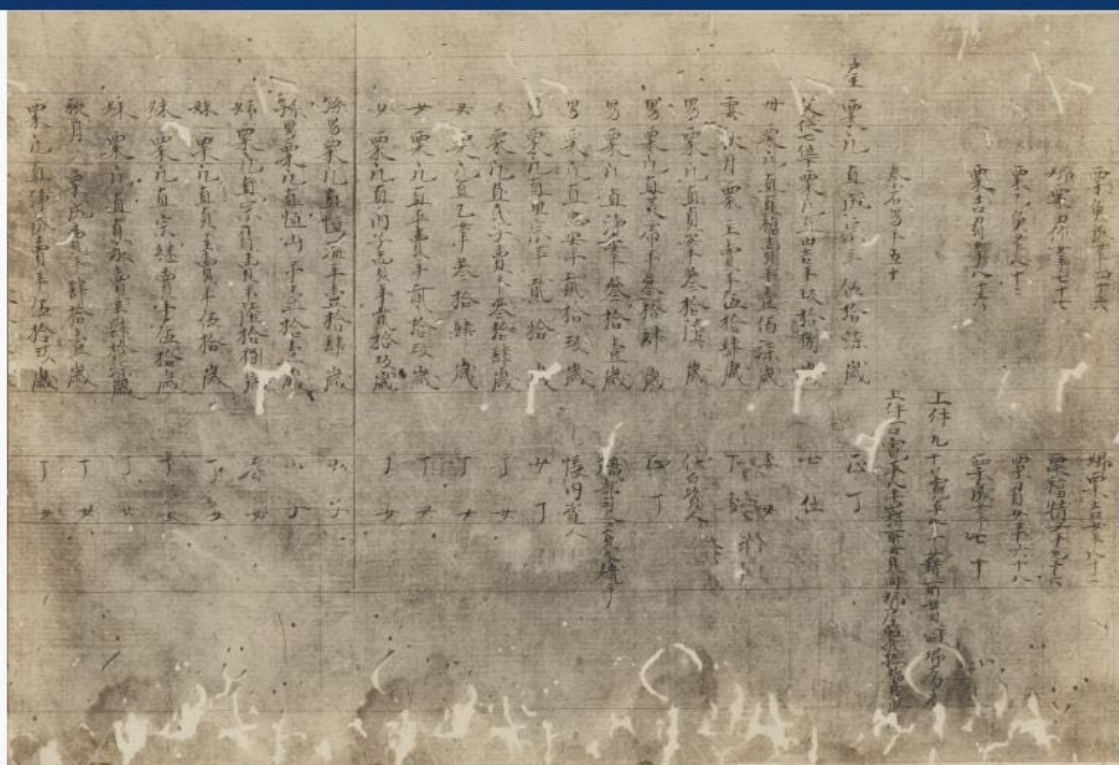
INTRODUCTORY SELECTION  
銀色に輝く模様が美しい

公益財団法人 藤田美術館  
〒534-0026 大阪市都島区綱島町10番32号



Access Live Camera Exhibition Tour





☒ 全画面モード

(教科書名入る) P.53

阿波国戸籍

YCH1200200

提供元：東京大学史料編纂所

# 九州国立博物館 ウェブページ



この資料は上の画像をクリックして遷移先の外部サイトで参照してください

(教科書名入る) P.59

九州国立博物館ウェブページ

YCH5200600

提供元：九州国立博物館

## 文化交流展示室案内

[トップページ](#) / [展示案内](#) / [文化交流展示室案内](#)


文化交流展示室では、日本とアジア、ヨーロッパとの文化交流の歴史を紹介しています。旧石器時代から江戸時代までを5テーマに分け、それぞれの文化交流を物語る作品を展示しています。見学の手順は自由！どうぞお好きな時代からご覧ください。さあ、出発しましょう！



展示室案内図

[「文化交流展示」とは？ \[サイト内リンク\]](#)

## 展示室紹介

## 中央ガイダンスエリア Guidance area



文化交流展示室を訪れたらまず足を運んでいただきたいのが、中央のガイダンスエリア。

ここでは、映像と模型で文化交流展示室についてご案内します。また、このエリアからすべてのテーマにアクセスできます。見学の順序は自由です。興味のおもむくままにお好きな時代からご覧ください。

## 1 縄文人、海へ Jomon Culture: Ocean-Bound



3万5千年前～紀元前4世紀

氷河期であった旧石器時代。人々は大型動物を狩り、植物を採集し、遊動生活をおくっていた。縄文時代には気候が温暖化し、森にはたくさんの木の实がなり、小型動物が現れ、海は豊かな漁場となった。人々は土器を作って食料を煮炊きし、定住生活をおくり、飾り、祈り、弔いも行った。サケなどの食料が豊富な東日本では、特に文化が開いた。

[「1 縄文人、海へ」の展示作品](#)

## 2 稲づくりから 国づくり Political Power: Cultivating Rice



## 紀元前4世紀～紀元後7世紀

弥生時代、大陸から米作りや金属器が九州に伝わった。農作業を共同で行なう中で人々をまとめる人が現れ、やがて地域を治める王になった。古墳時代には列島の大半を治める大王が現れた。大陸からは多くの人々が渡来し、乗馬の文化や須恵器製作の技術を伝えた。九州では石人や装飾壁画によって首長の死後の安寧を祈る独自の古墳文化が展開した。

[「2 稲づくりから国づくり」の展示作品](#)

## 3 遣唐使の時代 Nation Building: The Age of the Envoys



## 7世紀～12世紀

奈良時代の日本は唐の都長安に遣唐使を送り、先進的な国家制度や仏教を学び、国際色豊かな品々を持ち帰った。大宰府はアジアとの外交・貿易の拠点として繁栄した。平安時代には、渡来の文化を基盤に、「仮名」に代表されるような日本独自の新しい文化が生まれた。仏教でも密教や極楽往生を願う信仰が流行し、未来に経典を残すために経塚が盛んに造られた。

[「3 遣唐使の時代」の展示作品](#)

## アジアの海は日々これ交易 Merchants of the Asian Seas



## 12世紀～16世紀

武士が台頭した鎌倉時代から室町時代にかけて、アジア諸国の貿易商人たちは大海原をさかんに往来した。京都や博多などの都市をはじめ、各地で商業が発達した。覇権を争った武士たちのあいだでは、禅僧が伝えた水墨画や茶などが富や権力の象徴として流行し、それはやがて日本の伝統文化を代表する茶の湯（茶道）へと発展した。

[「4 アジアの海は日々これ交易」の展示作品](#)

## 5 丸くなった地球近づく西洋 Smaller World, Closer West



16世紀～19世紀

室町時代の終わりから安土桃山時代は、ヨーロッパの大航海時代にあたる。アジアに進出してきたヨーロッパ人との交流を通じて、鉄砲やキリスト教が日本にもたらされ、日本からは銀や工芸品などが海を渡った。戦乱が終わり社会が安定した江戸時代、日本は長崎や対馬、琉球、蝦夷地を通じて世界とつながった。日本の磁器や漆器が世界を魅了した一方、国内でも世界への知識は広がり、蘭学など多彩な文化が育まれ、やがて訪れる近代への礎となった。

[「5 丸くなった地球 近づく西洋」の展示作品](#)

## 博物館へのお問い合わせ

## ☑ ハローダイヤル

**050-5542-8600**

## 📞 ハローダイヤルについて

- > よくあるご質問 (FAQ)
- > 博物館からのお問い合わせ
- > 博物館から寄附、寄託・寄贈のお問い合わせ
- > ご意見・ご感想

## 九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

## 季刊雑誌「アジアージュ」

- > 最新号ダウンロード
- > バックナンバー

## 九博メルマガ

- > 会員登録はこちら
- > バックナンバー

## 九博公式SNS



- > 公式SNSのご紹介・SNS運営ポリシー

## 案内リーフレット[PDF]

🇯🇵 日本語 🇨🇳 简体中文 🇨🇳 繁體中文  
 🇰🇷 한국어 🇺🇸 English 🇩🇪 Deutsch  
 🇫🇷 Français 🇪🇸 Español

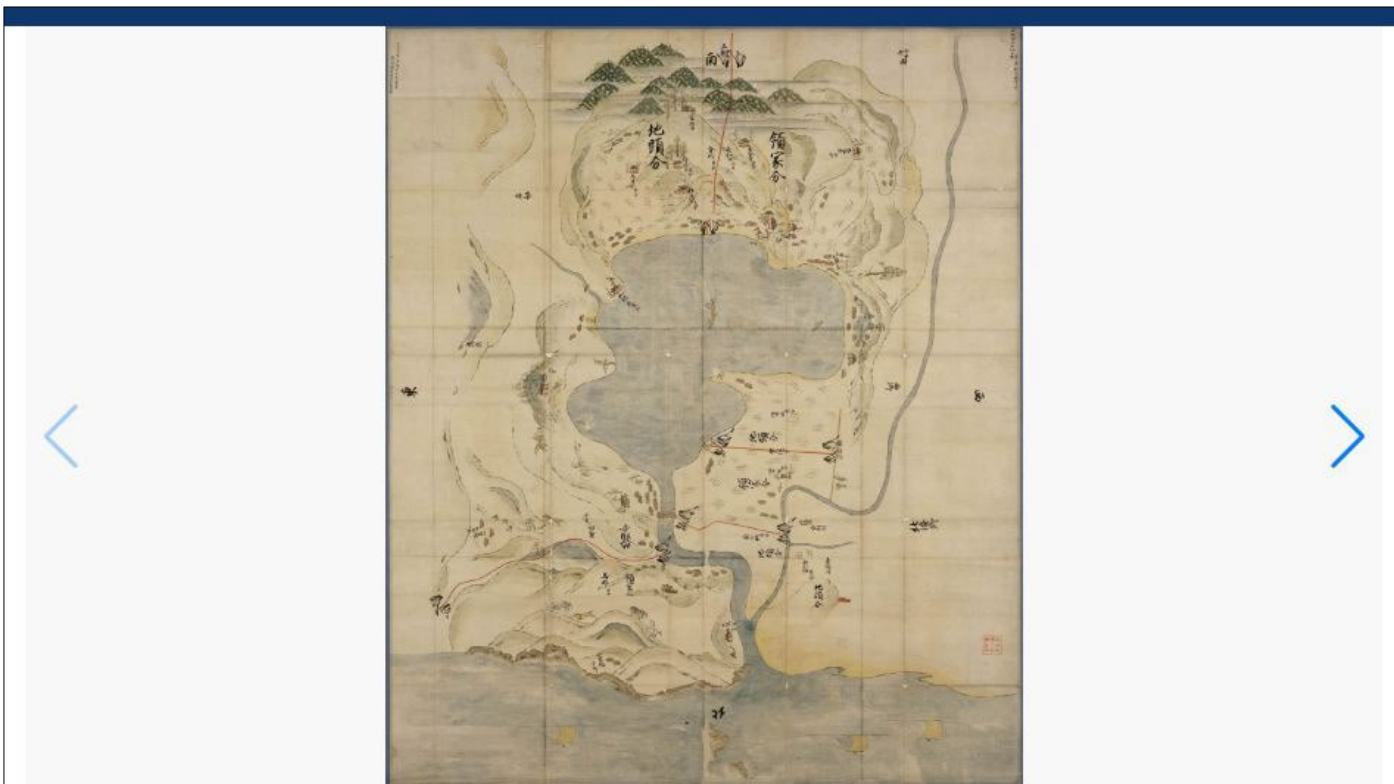
## 九博パンフレット[PDF]

🇯🇵 日本語 🇨🇳 中文 🇰🇷 한국어  
 🇺🇸 English

[サイトマップ](#) / [関連リンク](#) / [サイトポリシー](#)

Copyrights © 2023 Kyushu National Museum.





伯耆国東郷荘の下地中分図 (全体)



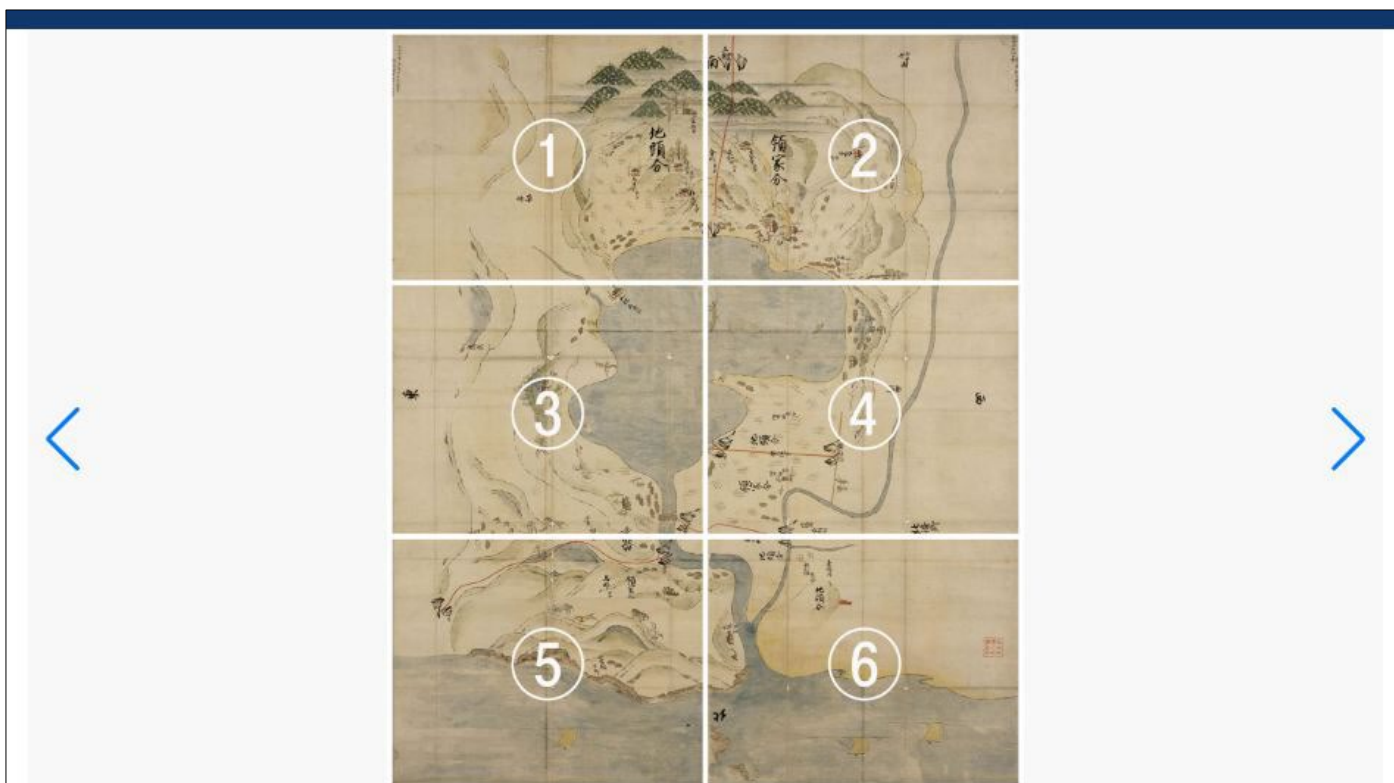
全画面モード

(教科書名入る) P.72

伯耆国東郷荘の下地中分図 (模本)

YCH1200300

提供元：東京大学史料編纂所



伯耆国東郷荘の下地中分図 (番号)



全画面モード

(教科書名入る) P.72

伯耆国東郷荘の下地中分図 (模本)

YCH1200300

提供元：東京大学史料編纂所





伯耆国東郷荘の下地中分図①



☒ 全国図モード

(教科書名入る) P.72

### 伯耆国東郷荘の下地中分図 (模本)

YCH1200300

提供元：東京大学史料編纂所



伯耆国東郷荘の下地中分図②



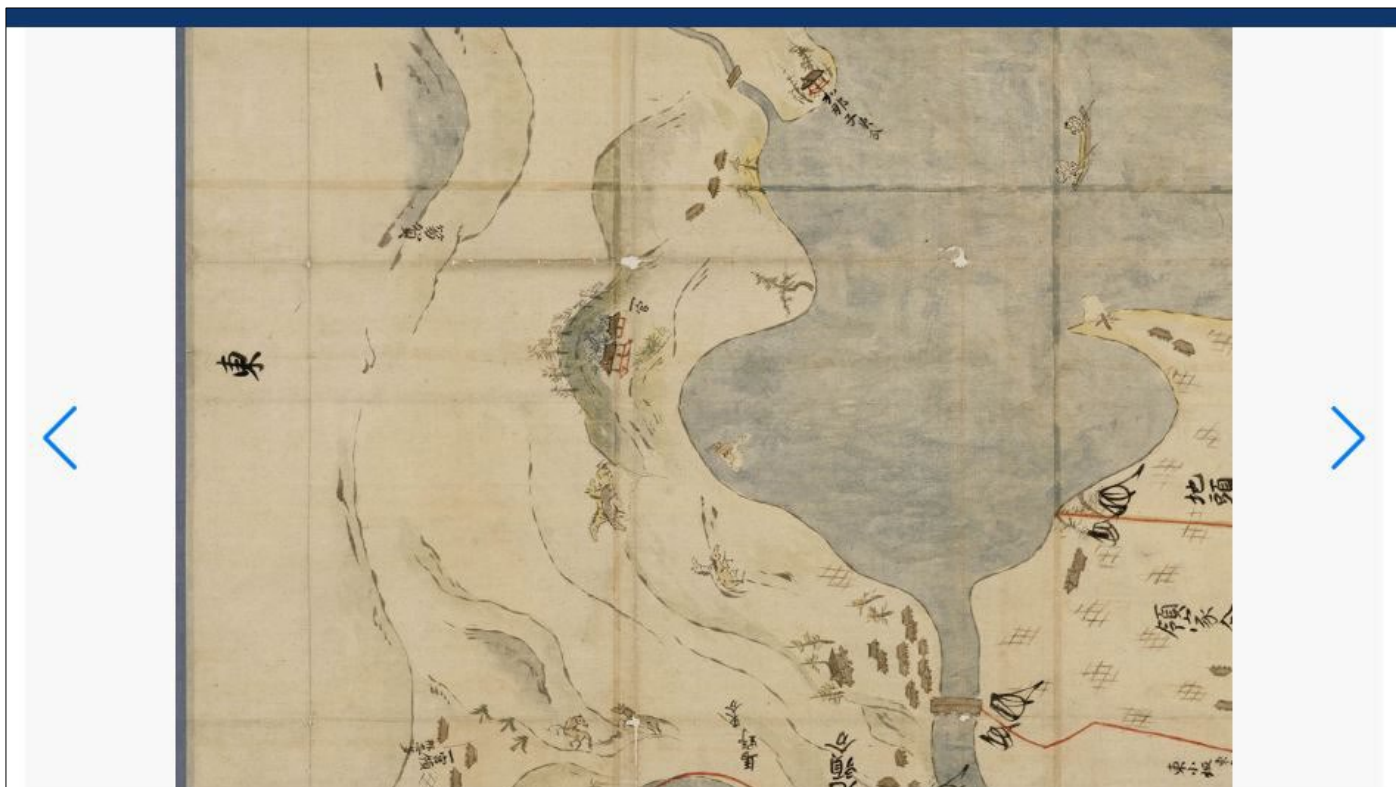
☒ 全画面モード

(教科書名入る) P.72

伯耆国東郷荘の下地中分図 (模本)

YCH1200300

提供元: 東京大学史料編纂所



伯耆国東郷荘の下地中分図③



全画面モード

(教科書名入る) P.72

### 伯耆国東郷荘の下地中分図 (模本)

YCH1200300

提供元：東京大学史料編纂所



伯耆国東郷荘の下地中分図④



全画面モード

(教科書名入る) P.72

### 伯耆国東郷荘の下地中分図 (模本)

YCH1200300

提供元：東京大学史料編纂所



伯耆国東郷荘の下地中分図⑤



全画面モード

(教科書名入る) P.72

### 伯耆国東郷荘の下地中分図 (模本)

YCH1200300

提供元：東京大学史料編纂所